

介護予防・日常生活圏域二一ズ調査
在宅介護実態調査
鳥栖市独自調査
鳥栖市 結果概要

令和2年8月

鳥栖市

I. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

1. 調査の概要

(1) 調査の目的

本調査は市内の日常生活圏域ごとに高齢者の生活実態や課題などを把握することにより、特にリスクが高い回答者を中心に訪問を行い、また介護予防事業を展開していくことで、生活習慣の振り返りや健康への意識を高めることを目的とする。

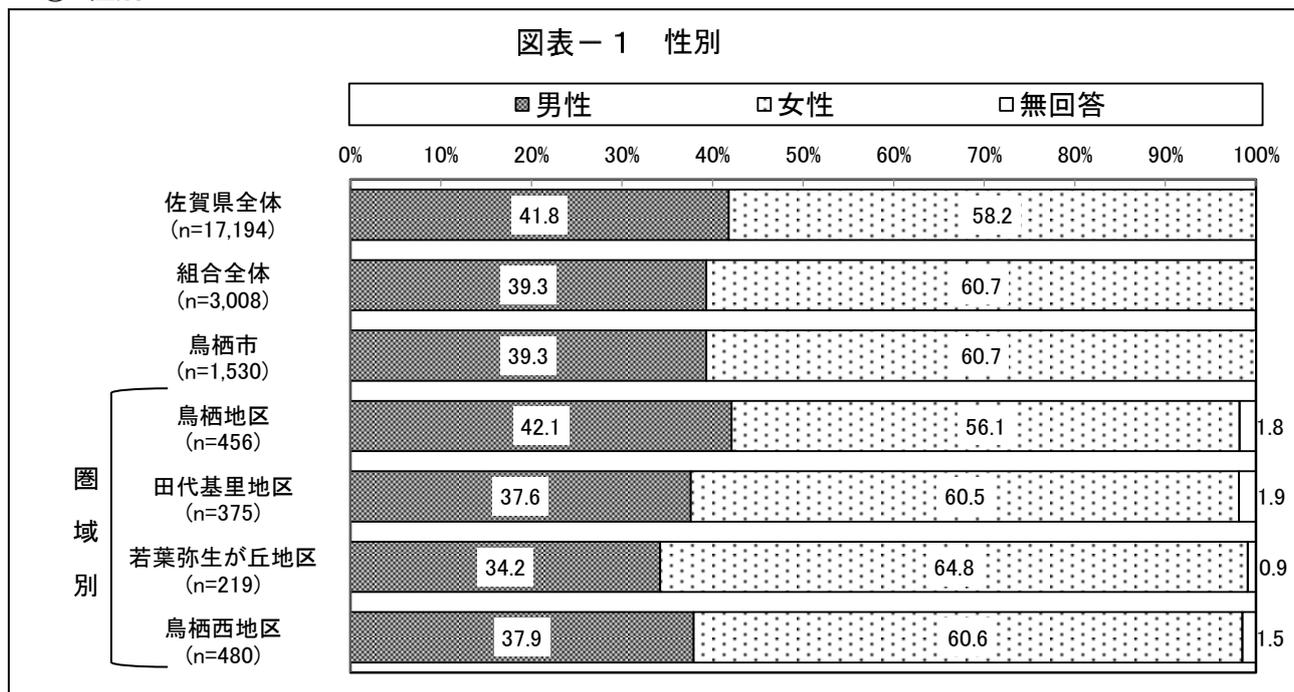
(2) 調査設計及び回収結果

調査対象と 標本数	要介護1～5の認定を受けていない65歳以上の高齢者： 鳥栖地区広域市町村圏組合 全体：4,813人 [無作為抽出] (うち鳥栖市 1,530人)
調査方法	郵送配布－郵送回収
有効回収数 (率)	3,008人 (62.5%) (うち鳥栖市1,530人)
実施年月	令和元年10月～令和2年2月

2. 回答者の基本属性・生活状況

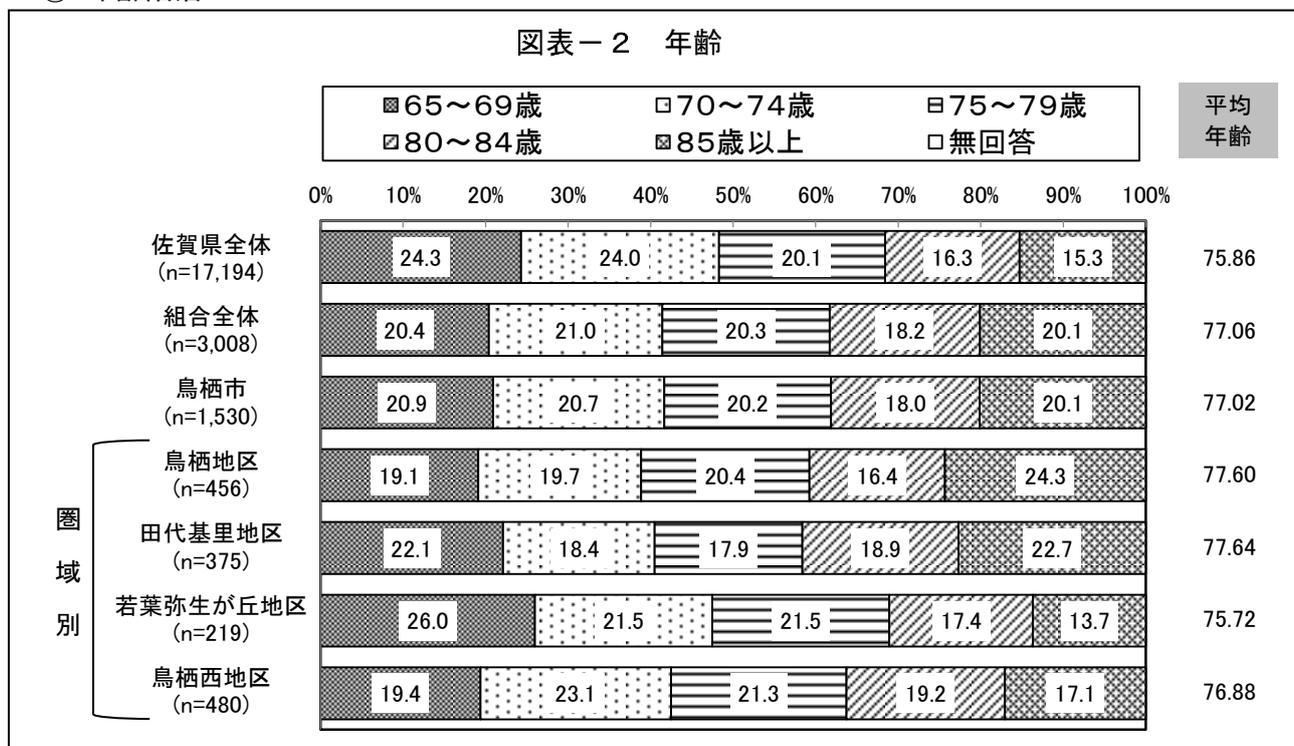
(1) 基本属性

① 性別



鳥栖市全体では、「男性」が39.3%、「女性」が60.7%となっている。
圏域別にみると、若葉弥生が丘地区で「女性」が64.8%と多くなっている。

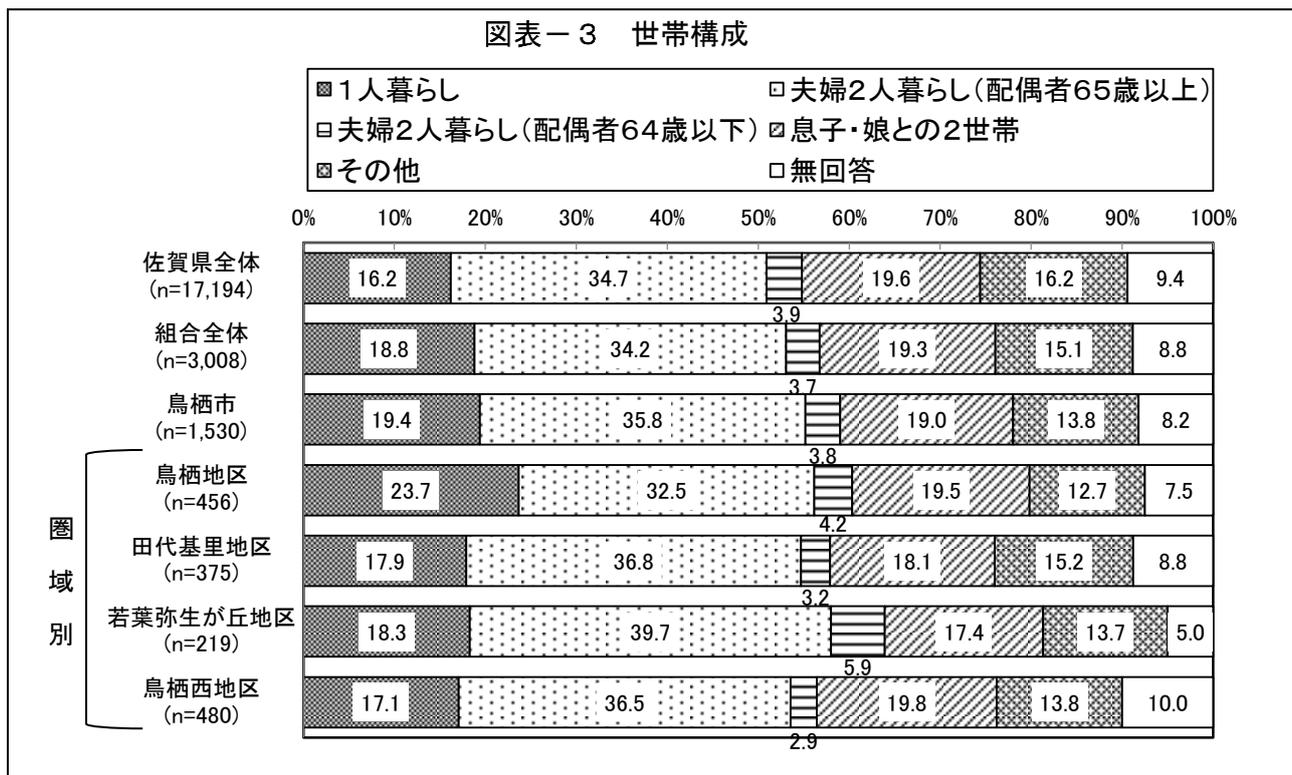
② 年齢階層



鳥栖市では、前期高齢者（74歳以下）の割合が41.6%、後期高齢者（75歳以上）の割合は58.3%となっている。圏域別にみると、若葉弥生が丘地区では前期高齢者が47.5%と多くなっている。

(2) 家族や生活状況について

① 世帯構成

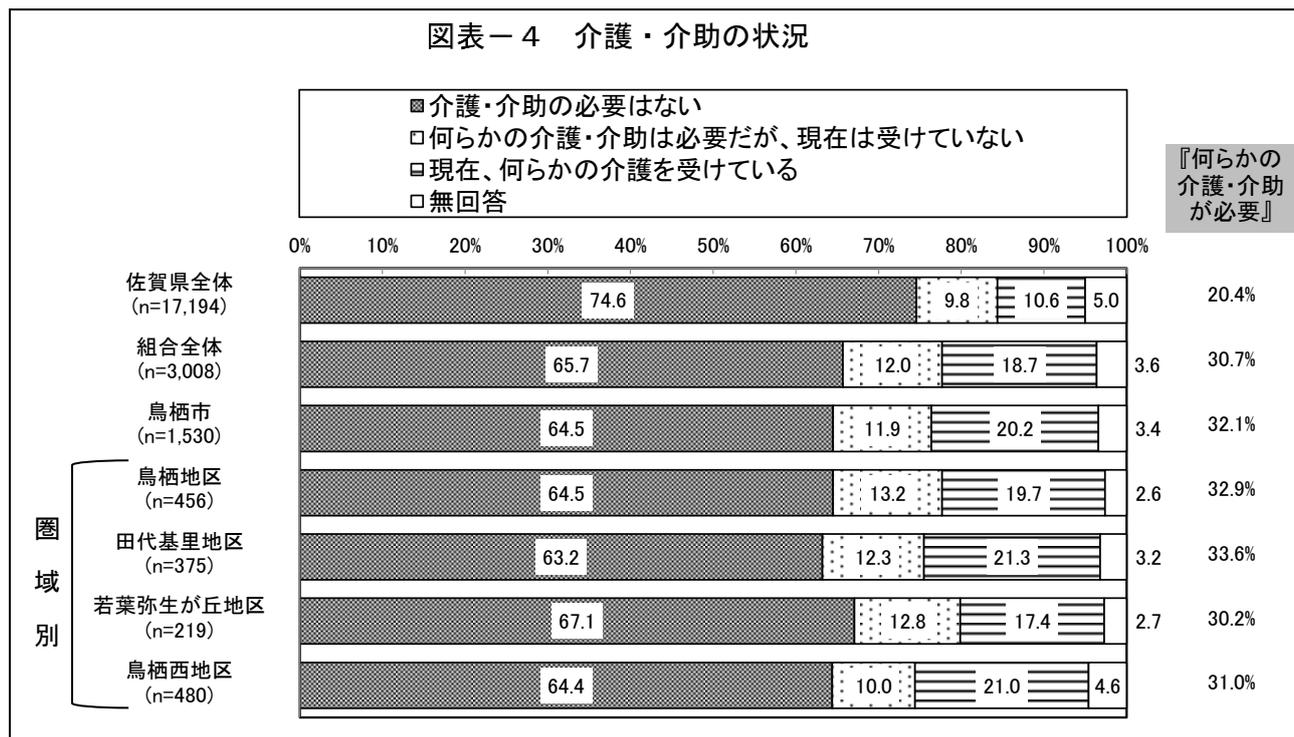


世帯構成について、鳥栖市では、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」の割合が35.8%と最も高く、次いで「1人暮らし」、(19.4%)、「息子・娘との2世帯」(19.0%)となっている。

圏域別にみると、鳥栖地区では「一人暮らし」の割合が23.7%と他の圏域と比べて高く、若葉弥生が地区では「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」(39.7%)が高くなっている。

② 介護・介助の必要性

図表－４ 介護・介助の状況

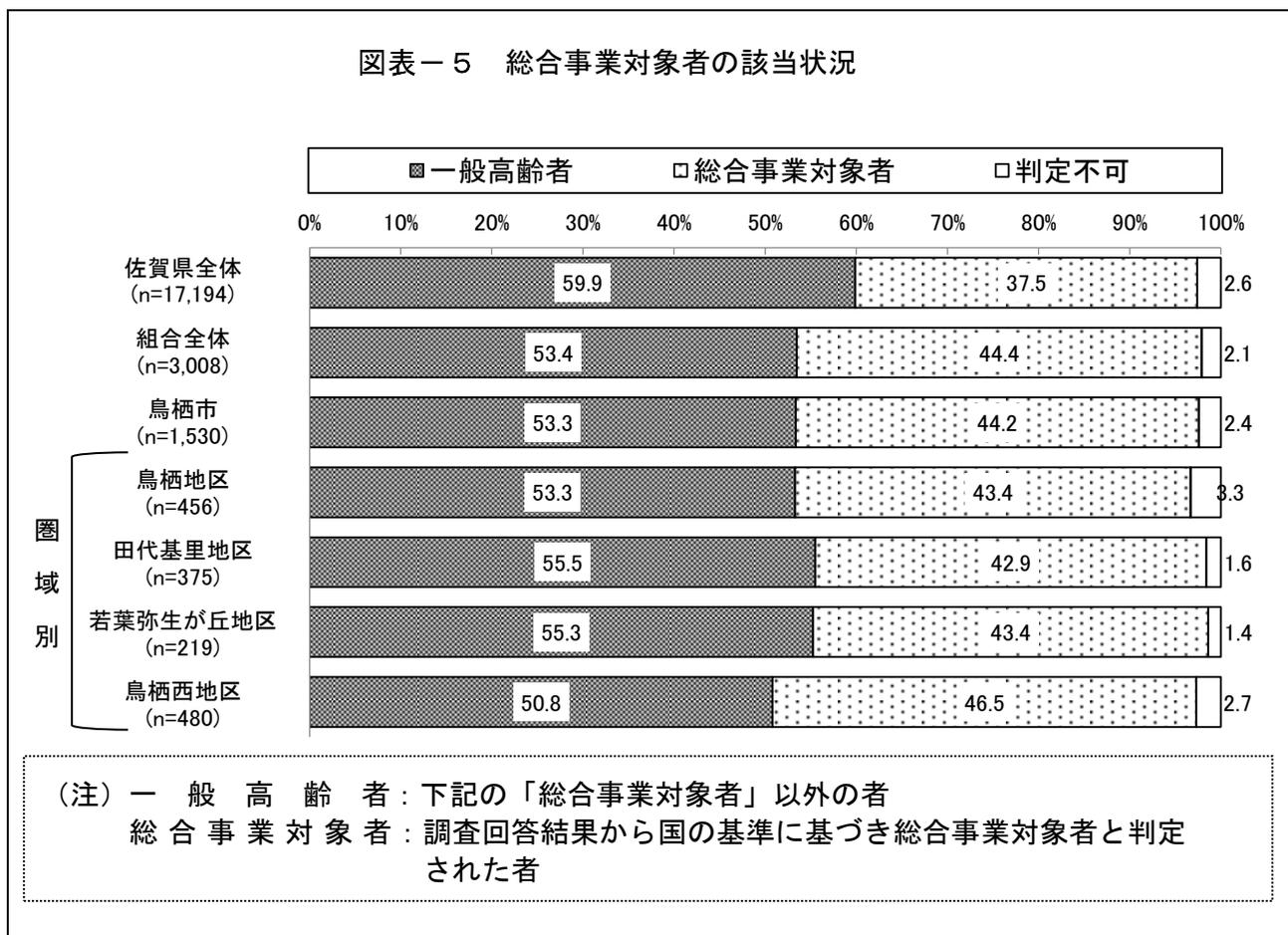


介護・介助の必要性について尋ねたところ、鳥栖市では、「介護・介助の必要性はない」が64.5%と最も高い。「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」(11.9%)、と「現在、何らかの介護を受けている」(20.2%)を合わせた32.1%の人が『何らかの介護・介助が必要』と回答しており、佐賀県全体と比べると約12ポイント高い。

圏域別にみると、田代基里地区では『何らかの介護・介助が必要』が33.6%とやや高くなっている。

3. 生活機能等の評価・判定結果

(1) 介護予防日常生活支援・総合事業対象者の該当状況



総合事業対象者の該当状況は、鳥栖市では44.2%となっており、佐賀県全体と比べて高くなっている。

圏域別にみると、鳥栖西地区で総合事業対象者が46.5%と高くなっている。

(2) 評価・判定結果の概要（リスク該当者割合一覧）

図表－6 生活機能に係るリスク該当者の割合

(%)

	調査数「人」	生活機能								
		虚弱	運動器	転倒	閉じこもり 予防	栄養	口腔	認知症 予防	うつ 予防	
		(該当 10点以上)	(該当 3点以上)	(該当 1点以上)	(該当 1点以上)	(該当 2点以上)	(該当 2点以上)	(該当 1点以上)	(該当 1点以上)	
佐賀県全体	17,194	12.9	22.4	33.9	18.0	2.0	25.1	55.7	41.2	
鳥栖地区広域市町村圏	3,008	18.5	30.8	37.9	20.4	2.6	29.4	57.9	42.2	
鳥栖市	1,530	18.9	30.8	38.9	20.4	2.6	29.1	57.8	41.4	
性・年齢別	【男性 計】	601	14.0	19.5	33.3	16.5	1.5	27.6	53.9	37.3
	～69歳	145	6.2	6.9	24.8	11.7	0.0	24.8	49.7	31.0
	70～74歳	144	6.9	7.6	22.9	10.4	0.0	17.4	46.5	26.4
	75～79歳	120	8.3	17.5	32.5	14.2	2.5	26.7	47.5	33.3
	80～84歳	93	16.1	26.9	38.7	17.2	2.2	29.0	64.5	47.3
	85歳以上	99	40.4	50.5	56.6	34.3	4.0	46.5	68.7	57.6
	【女性 計】	929	22.1	38.2	42.5	22.9	3.3	30.0	60.3	44.1
	～69歳	175	3.4	8.6	24.0	7.4	1.1	13.7	45.7	37.7
	70～74歳	173	9.2	22.0	33.5	12.1	1.7	18.5	49.7	37.6
	75～79歳	189	13.8	33.9	38.1	19.6	2.1	27.0	68.8	43.9
	80～84歳	183	28.4	51.4	50.8	35.0	5.5	39.9	60.7	45.4
85歳以上	209	50.2	68.9	62.2	37.3	5.7	47.4	73.2	54.1	
圏域別 日常生活	鳥栖地区	456	20.0	31.6	37.7	23.2	2.0	29.6	57.2	41.0
	田代基里地区	375	20.3	30.4	37.9	18.4	3.2	27.2	60.0	42.9
	若葉弥生が丘地区	219	16.0	29.7	37.0	18.3	2.7	27.4	60.3	40.2
	鳥栖西地区	480	18.1	31.0	41.7	20.2	2.7	30.8	55.4	41.3

鳥栖市全体に比べて、リスク該当者・低下者の割合が高い(+3ポイント以上)

国の「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」では、高齢者の生活機能や日常生活・社会参加について評価・判定を行うことができる。

生活機能のリスク該当者の割合をみると、鳥栖市では、「認知症」や「うつ」「転倒」の項目でリスク該当者が4割弱から6割弱となっている。また、佐賀県全体の平均と比べると、すべての項目でリスク該当者の割合が高い状況である。

性・年齢別にみると、多くの項目で概ね年齢とともにリスク該当者の割合は大きくなっている。また、「虚弱」「運動器」「転倒」のリスク該当者は男性に比べ女性に多い傾向にある。

圏域別にみると、「虚弱」は鳥栖地区と田代基里地区でリスク該当者が2割を超えている。「転倒」は鳥栖西地区でリスク該当者が4割を超えている。「閉じこもり」リスク該当者は鳥栖地区で23.2%とやや高くなっており、「認知症」リスク該当者は田代基里地区と若葉弥生が丘地区で6割を超えている。

図表－7 日常生活・社会参加指標に係る低下者の割合

(%)

	調査数 〔人〕	日常生活・社会参加				
		手段的 自立度 (IADL)	知的能 動性	社会的 役割	老研指 標総合 評価	
		(低下 4点 以下)	(低下 3点 以下)	(低下 3点 以下)	(低下 10点 以下)	
佐賀県全体	17,194	21.1	42.9	54.9	31.7	
鳥栖地区広域市町村圏	3,008	26.3	45.3	60.7	37.1	
鳥栖市	1,530	27.2	44.7	61.7	37.9	
性・年齢別	【男性 計】	601	29.9	46.3	69.4	41.8
	～69歳	145	20.7	55.2	67.6	40.7
	70～74歳	144	29.8	43.8	65.3	34.7
	75～79歳	120	21.7	31.7	64.2	29.2
	80～84歳	93	38.7	48.4	69.9	49.4
	85歳以上	99	45.4	52.6	83.8	61.7
	【女性 計】	929	25.5	43.6	56.8	35.5
	～69歳	175	5.7	32.6	46.3	18.3
	70～74歳	173	12.7	35.3	43.9	19.0
	75～79歳	189	19.6	38.1	53.5	30.7
	80～84歳	183	30.6	48.1	60.6	42.1
85歳以上	209	53.6	60.8	76.1	62.2	
日常生活 圏域別	鳥栖地区	456	25.8	43.8	63.0	39.1
	田代基里地区	375	28.8	41.6	62.1	35.7
	若葉弥生が丘地区	219	26.4	45.2	55.7	38.3
	鳥栖西地区	480	27.7	47.5	63.1	38.5

鳥栖市全体に比べて、リスク該当者・低下者の割合が高い(+3ポイント以上)

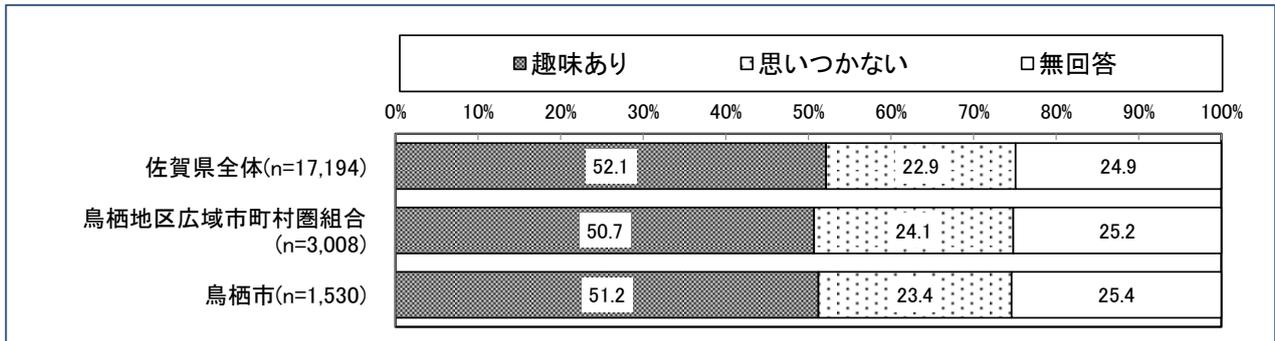
日常生活・社会参加指標の低下者の割合をみると、鳥栖市では、「社会的役割」（知人宅への訪問や若年者との会話の有無等の度合い）の低下者が6割強となっている。また、佐賀県全体の平均と比べると、すべての項目で低下者の割合が高い状況である。

性・年齢別にみると、多くの項目において80歳以上で低下者の割合は大きくなっている。また、いずれの項目も低下者の割合は女性に比べ男性に多い傾向にある。

「手段的自立度」（自分1人での外出や買物、食事の用意等をできるかの度合い）の低下者は田代基里地区で28.8%とやや高く、「知的能動性」（年金等の書類作成や新聞・本などを読んでいるかの度合い）の低下者は鳥栖西地区で47.5%とやや高くなっている。「社会的役割」（知人宅への訪問や若年者との会話の有無等の度合い）の低下者は若葉弥生が丘地区を除く3地区で6割強となっており、これら3指標を総合した「老研指標総合評価」の低下者は鳥栖地区で39.1%とやや高くなっている。

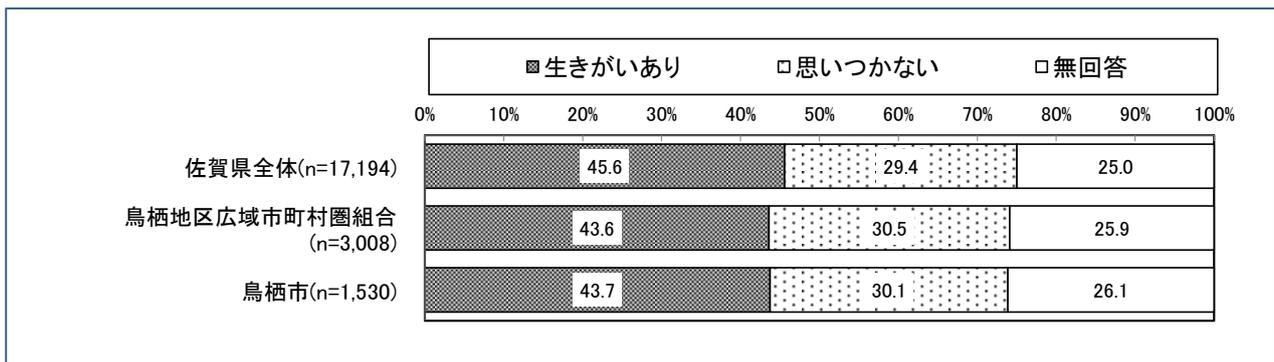
(3) 社会参加

① [趣味の有無]



要支援・要介護認定を受けていない高齢者および要支援2以下の認定を受けている高齢者の5割強が「趣味」を持っています。

② [生きがい]



要支援・要介護認定を受けていない高齢者および要支援2以下の認定を受けている高齢者の4割強が「生きがい」を持っています。

4. 地域づくりや助け合いについて

(1) 会・グループ等への参加頻度

図表－8 会・グループ等への『月1回以上』の参加者の割合

(%)

	「調査数」	『月1回以上』参加したことがある人の割合							
		ボランティア	スポーツ関係	趣味関係	学習・教養	老人クラブ	町内会・自治会	収入のある仕事	
佐賀県全体	17,194	9.6	20.6	22.6	7.9	13.1	11.4	20.4	
鳥栖地区広域市町村圏	3,008	8.3	19.0	21.4	4.8	8.5	8.1	14.4	
鳥栖市	1,530	6.9	18.6	22.2	4.7	6.9	6.9	13.2	
性・年齢別	【男性 計】	601	7.0	17.7	18.1	2.6	7.2	8.8	18.0
	～69歳	145	8.3	15.2	18.0	2.8	0.7	9.0	34.5
	70～74歳	144	7.0	15.4	21.6	4.9	6.3	11.1	25.8
	75～79歳	120	10.8	23.4	17.5	1.6	8.3	10.8	12.5
	80～84歳	93	6.5	25.9	25.9	2.2	14.0	8.6	4.4
	85歳以上	99	1.0	10.1	7.1	1.0	10.1	3.0	2.0
	【女性 計】	929	6.9	19.1	24.7	6.1	6.8	5.7	10.1
	～69歳	175	9.7	24.6	25.7	6.9	0.6	4.6	29.2
	70～74歳	173	9.9	26.5	31.9	9.9	4.7	7.0	13.9
	75～79歳	189	7.3	25.3	33.4	8.4	6.9	7.4	6.4
	80～84歳	183	4.3	13.1	17.9	3.1	7.0	7.1	2.6
85歳以上	209	3.9	8.1	16.3	2.4	13.0	3.4	1.0	
圏域別 日常生活	鳥栖地区	456	7.9	17.1	24.7	3.3	8.7	5.3	10.7
	田代基里地区	375	7.1	18.8	21.0	6.2	8.5	8.1	15.8
	若葉弥生が丘地区	219	6.9	20.1	24.2	4.6	3.6	7.4	11.9
	鳥栖西地区	480	5.7	19.0	19.6	4.9	5.1	7.6	14.1

鳥栖市全体に比べて、月1回以上参加者の割合が高い(+3ポイント以上)

会やグループ等への参加頻度について、『月1回以上』の参加者の割合をみると、鳥栖市では「趣味関係のグループ」や「スポーツ関係のグループやクラブ」が約2割と高くなっている。

性・年齢別にみると、「趣味関係のグループ」や「スポーツ関係のグループやクラブ」の『月1回以上』の参加者は男性に比べ女性に多く、特に80歳未満の女性に多い傾向にある。

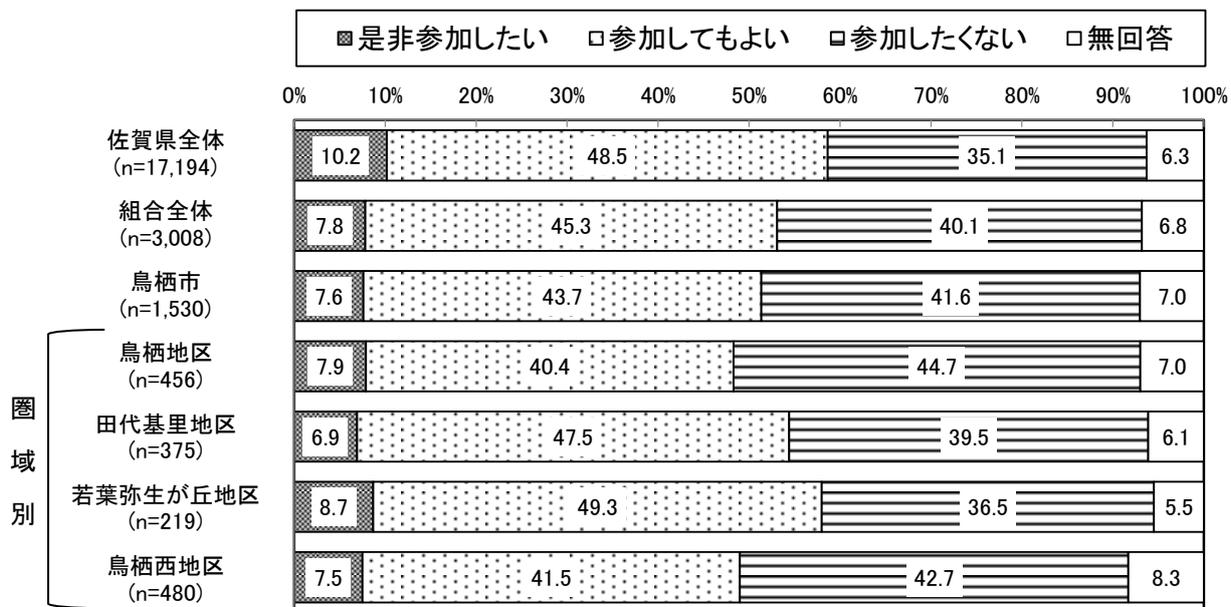
圏域別にみると、「スポーツ関係のグループやクラブ」の『月1回以上』の参加者は若葉弥生が丘地区で2割を超えてやや高く、「趣味関係のグループ」の『月1回以上』の参加者は鳥栖地区と若葉弥生が丘地区、「収入のある仕事」の『月1回以上』の参加者は田代基里地区と鳥栖西地区で高くなっている。

(2) 地域づくりへの参加意向

問5(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。

図表-9 地域づくりへの参加意向

【参加者として】



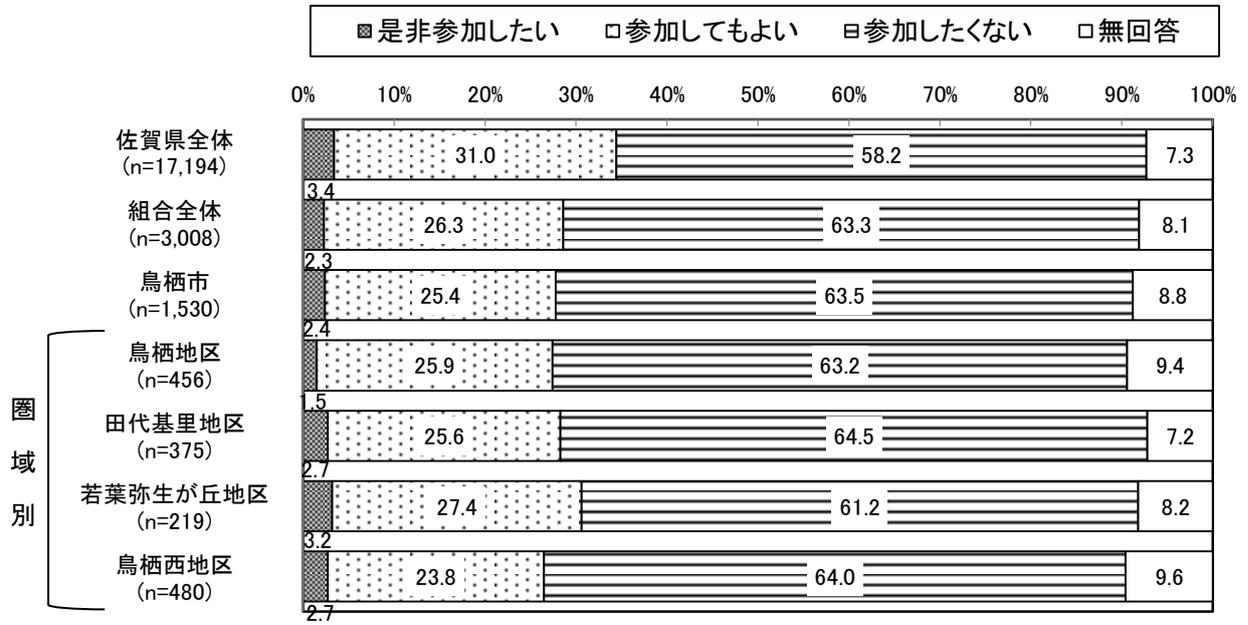
地域づくりへの『参加者として』の参加意向は、鳥栖市では「参加してもよい」(43.7%)の割合が最も高く、「是非参加したい」は7.6%、「参加したくない」は41.6%となっている。

圏域別にみると、若葉弥生が丘地区の地域づくりへの参加意向が他の圏域に比べると高い。

問5(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか。

図表-10 地域づくりへの参加意向

【お世話役として】



地域づくりへの『お世話役として』の参加意向は、鳥栖市では「参加したくない」(63.5%)の割合が最も高く、「是非参加したい」は2.4%、「参加してもよい」は25.4%となっている。

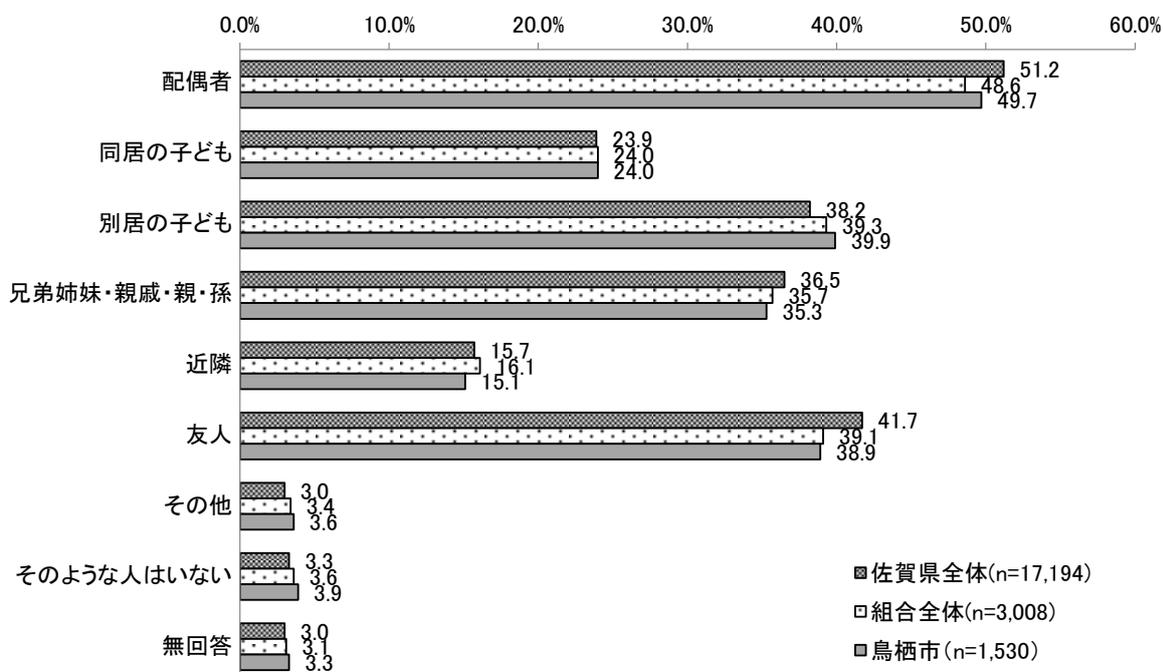
圏域別にみると、若葉弥生が丘地区の地域づくりへの参加意向が他の圏域に比べると高い。

(3) たすけあいの状況

① 心配事や愚痴を聞いてくれる人

問6 (1)～(4) あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします。

図表－11 心配事や愚痴を聞いてくれる人（複数回答）



心配事や愚痴を『聞いてくれる人』は、鳥栖市では「配偶者」の割合が約5割で最も高く、これに「別居の子ども」や「友人」、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が3割台で続いている。

圏域別にみると、田代基里地区では「近隣」(17.9%)、若葉弥生が丘地区では「友人」(45.7%)の割合が他の圏域に比べて高くなっている。

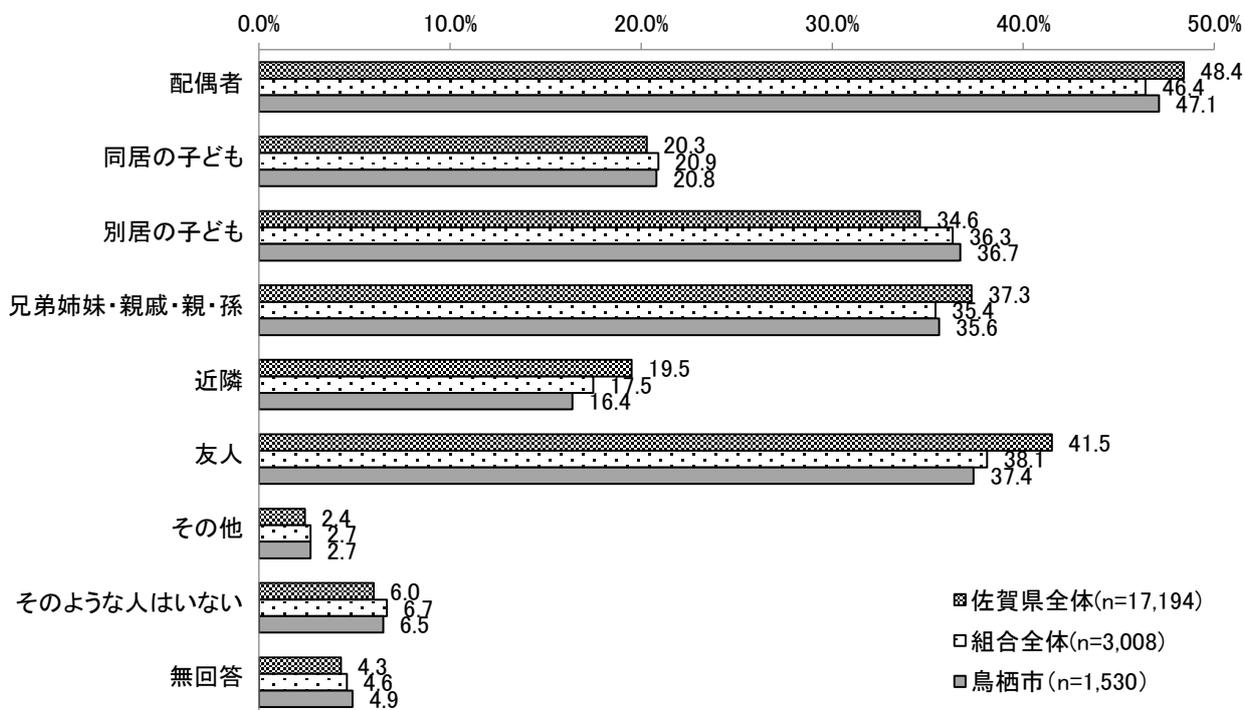
図表－12 圏域別 心配事や愚痴を聞いてくれる人

	調査数 「人」	心配事や愚痴を聞いてくれる人									
		配偶者	同居の子ども	別居の子ども	親兄弟・姉妹・親戚・孫	近隣	友人	その他	はそいような人	無回答	
鳥栖市全体	1,530	49.7	24.0	39.9	35.3	15.1	38.9	3.6	3.9	3.3	
圏域生活	鳥栖地区	456	48.0	24.6	37.3	38.2	12.9	36.6	3.3	5.3	3.3
	田代基里地区	375	50.7	26.1	39.7	32.5	17.9	36.5	3.5	3.2	3.2
	若葉弥生が丘地区	219	48.9	22.8	44.3	38.4	12.8	45.7	5.0	4.6	1.8
	鳥栖西地区	480	50.8	22.3	40.4	33.3	16.0	39.8	3.3	2.7	4.2
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

② 心配事や愚痴を聞いてあげる人

問6 (1) ~ (4) あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします。

図表-13 心配事や愚痴を聞いてあげる人 (複数回答)



心配事や愚痴を『聞いてあげる人』は、鳥栖市では「配偶者」の割合が5割弱で最も高く、これに「別居の子ども」や「友人」、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が3割台で続いている。

圏域別にみると、心配事や愚痴を『聞いてあげる人』同様、田代基里地区では「近隣」(17.3%)、若葉弥生が丘地区では「友人」(43.4%)の割合が他の圏域に比べて高くなっている。

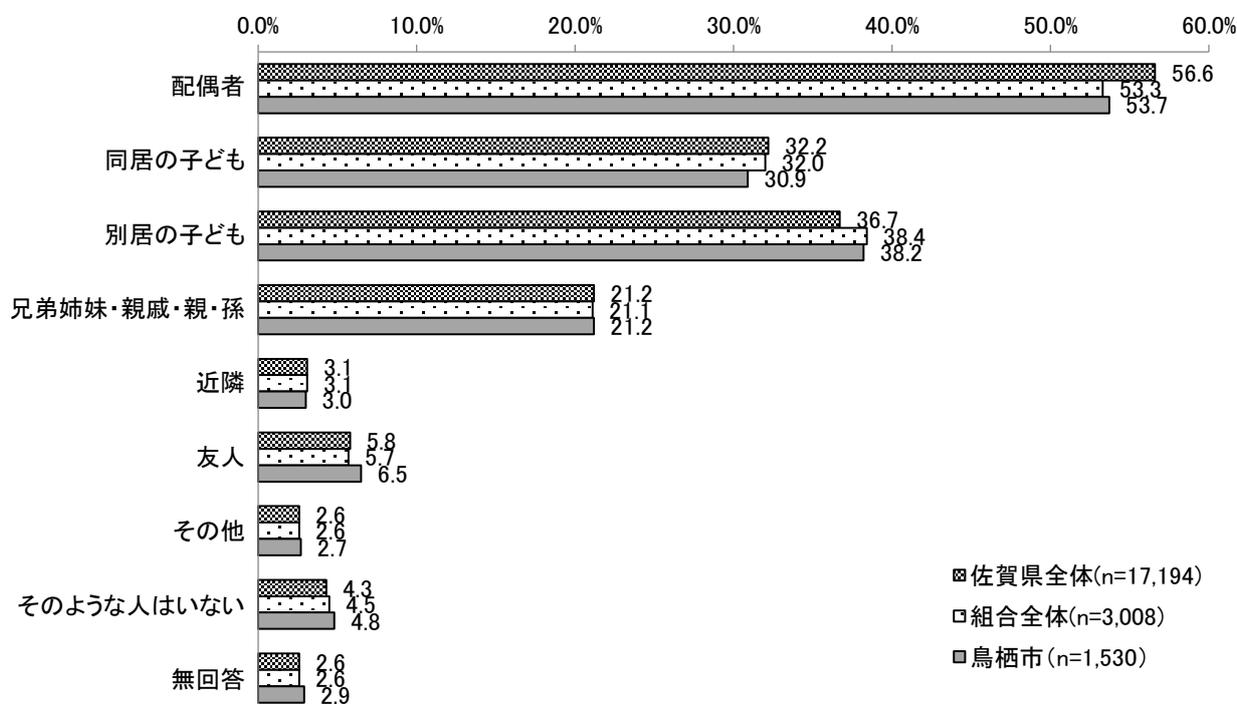
図表-14 圏域別 心配事や愚痴を聞いてあげる人

調査数「人」	心配事や愚痴を聞いてあげる人										
	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	親兄弟・姉妹・親戚・孫	近隣	友人	その他	はそいような人	無回答		
鳥栖市全体	1,530	47.1	20.8	36.7	35.6	16.4	37.4	2.7	6.5	4.9	
日常生活圏域	鳥栖地区	456	46.1	20.4	35.5	38.4	15.4	38.4	3.3	7.2	3.7
	田代基里地区	375	48.5	22.1	37.1	33.6	17.3	36.0	2.1	7.2	5.1
	若葉弥生が丘地区	219	49.3	21.5	44.3	38.8	16.9	43.4	1.4	5.5	5.0
	鳥栖西地区	480	46.0	20.0	34.0	32.9	16.5	34.8	3.3	5.8	5.8
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

③ 看病や世話をしてくれる人

問6 (1)～(4) あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします。

図表－15 看病や世話をしてくれる人（複数回答）



病気になったときに『看病や世話をしてくれる人』は、鳥栖市では「配偶者」の割合が5割強で最も高く、これに「別居の子ども」が4割弱で続いている。

圏域別にみると、若葉弥生が地区では「友人」(8.2%)の割合が他の圏域に比べてやや高くなっている。また、鳥栖地区では「そのような人はいない」(7.7%)の割合が他の市町村に比べて割合が高い。

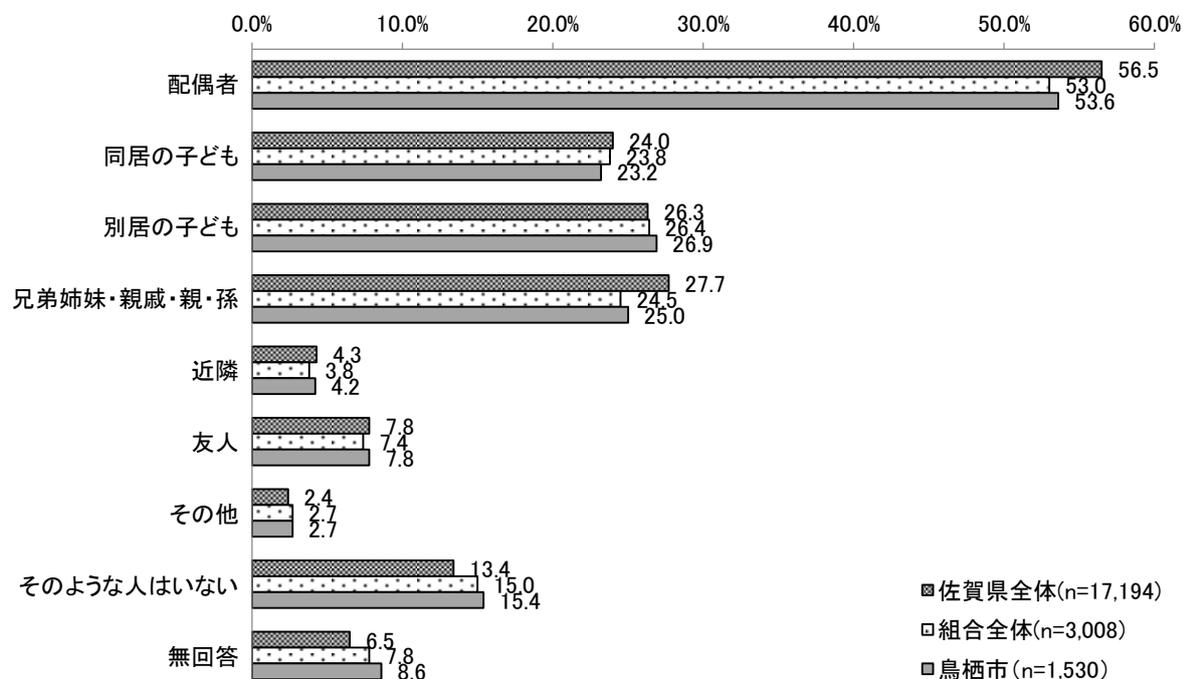
図表－16 圏域別 看病や世話をしてくれる人

	調査数 「人」	看病や世話をしてくれる人									
		配偶者	同居の子ども	別居の子ども	親兄弟・親戚・姉妹・孫	近隣	友人	その他	はそいような人	無回答	
鳥栖市全体	1,530	53.7	30.9	38.2	21.2	3.0	6.5	2.7	4.8	2.9	
圏域 日常生活	鳥栖地区	456	51.1	30.7	36.0	21.7	3.3	6.1	2.9	7.7	2.2
	田代基里地区	375	54.4	32.5	36.0	21.3	2.9	6.1	2.7	4.0	3.5
	若葉弥生が丘地区	219	55.7	30.6	42.9	23.3	3.2	8.2	1.8	4.1	0.9
	鳥栖西地区	480	54.8	30.0	40.0	19.8	2.7	6.3	2.9	3.1	4.2
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

④ 看病や世話をしあける人

問6 (1)～(4) あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします。

図表－17 看病や世話をしあける人（複数回答）



病気になったときに『看病や世話をしあける人』は、鳥栖市では「配偶者」の割合が5割強で最も高く、これに「同居の子ども」や「別居の子ども」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が2割台で続いている。

圏域別にみると、若葉弥生が地区では「そのような人はいない」(9.1%)の割合が他の市町村に比べて割合が低くなっている。

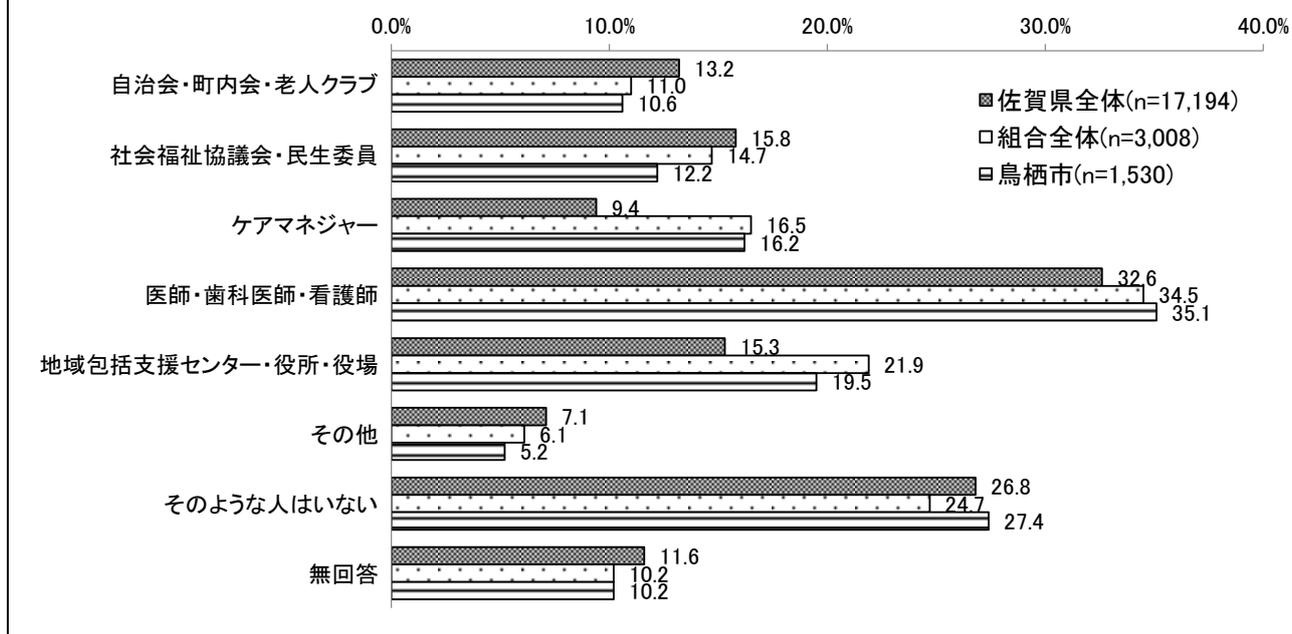
図表－18 圏域別 看病や世話をしあける人

	調査数 「人」	看病や世話をしあける人									
		配偶者	同居の子ども	別居の子ども	親兄弟・姉妹・親戚・孫	近隣	友人	その他	は その い な い よ う な 人	無 回 答	
鳥栖市全体	1,530	53.6	23.2	26.9	25.0	4.2	7.8	2.7	15.4	8.6	
圏域 日常生活	鳥栖地区	456	48.5	21.7	24.1	24.1	3.1	7.5	5.0	18.0	9.2
	田代基里地区	375	54.4	24.3	27.7	27.2	5.1	7.7	2.4	15.5	8.0
	若葉弥生が丘地区	219	59.4	26.0	33.3	27.9	6.4	8.2	1.4	9.1	6.4
	鳥栖西地区	480	55.2	22.5	25.8	22.7	3.5	8.1	1.5	15.8	9.4
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

⑤ 家族や友人・知人以外の相談相手

問6 (5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。
(いくつでも)

図表－19 家族や友人・知人以外の相談相手 (複数回答)



家族や友人・知人以外の相談相手について、鳥栖市では「医師・歯科医師・看護師」(35.1%)の割合が最も高く、次いで具体的な相手としては「地域包括センター・役所・役場」(19.5%)となっている。また、「そのような人はいない」と回答した人が、27.4%となっている。

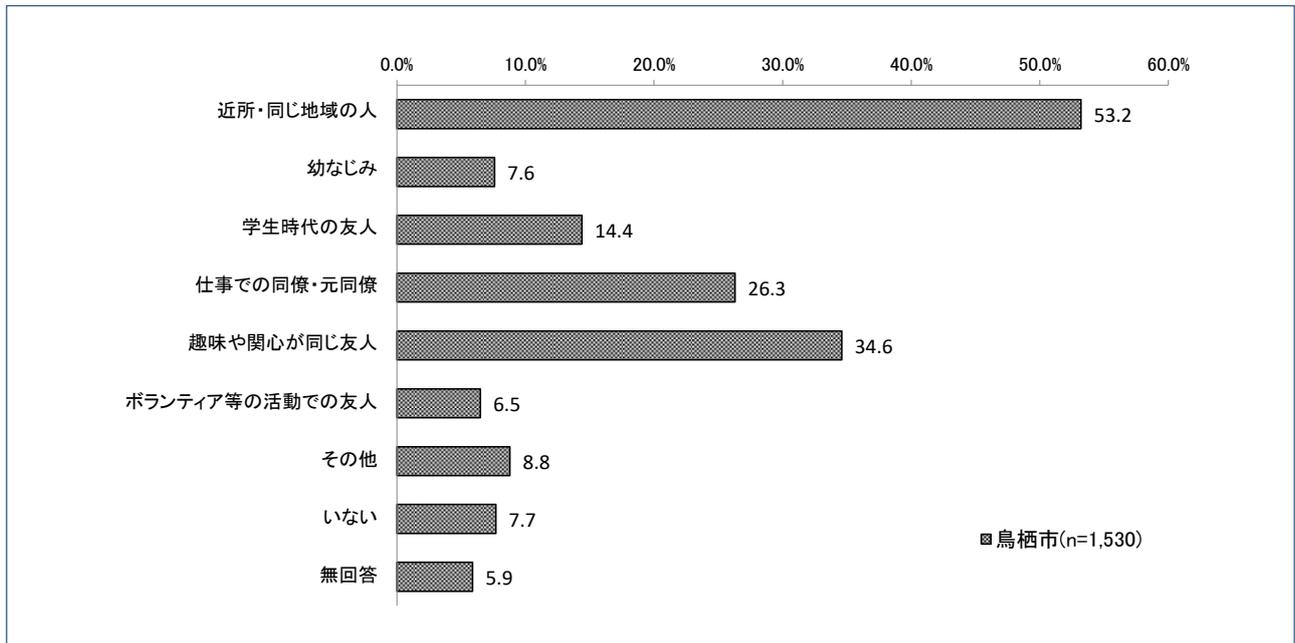
圏域別にみると、鳥栖地区では「医師・歯科医師・看護師」(38.2%)の割合が他の圏域に比べて高く、田代基里地区では「地域包括センター・役所・役場」(22.1%)が他の圏域に比べて割合が高くなっている。

鳥栖西地区では「そのような人はいない」(23.8%)の割合が他の圏域に比べて低くなっている。

図表－20 圏域別 家族や友人・知人以外の相談相手

	調査数「人」	家族や友人・知人以外の相談相手								
		自治会・町内会・老人クラブ	社会福祉協議会・民生委員	ケアマネジャー	医師・歯科医師・看護師	地域包括支援センター・役所・役場	その他	そのような人はいない	無回答	
鳥栖市全体	1,530	10.6	12.2	16.2	35.1	19.5	5.2	27.4	10.2	
日常生活圏域	鳥栖市鳥栖地区	456	9.2	10.3	18.2	38.2	19.5	4.6	29.4	9.4
	鳥栖市田代基里地区	375	12.5	12.8	13.6	30.7	22.1	5.9	29.1	8.5
	鳥栖市若葉弥生が丘地区	219	9.6	12.3	11.4	35.6	17.8	5.5	28.3	11.0
	鳥栖市鳥栖西地区	480	10.8	13.5	18.5	35.4	18.3	5.0	23.8	11.9
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-

⑥ よく会う友人・知人との関係



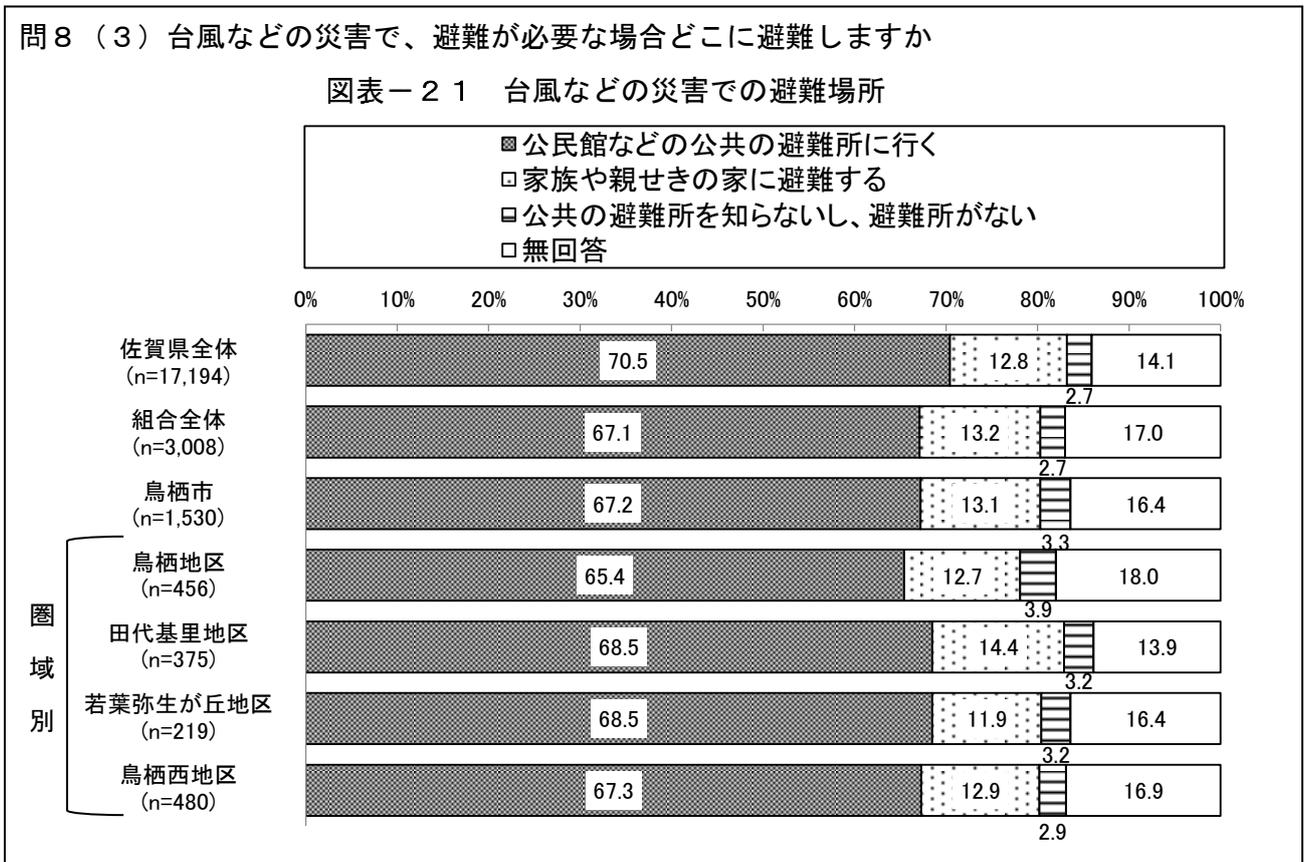
よく会う友人・知人との関係は「近所・同じ地域の人」が5割強で最も多く、次いで「趣味や関心が同じ友人」(34.6%)となっています。

地縁による交流が多いことを活かし、地域によるネットワークの構築を進める必要があります。

5. 災害時の対応について

(1) 台風などの災害時の避難

① 台風などの災害での避難場所



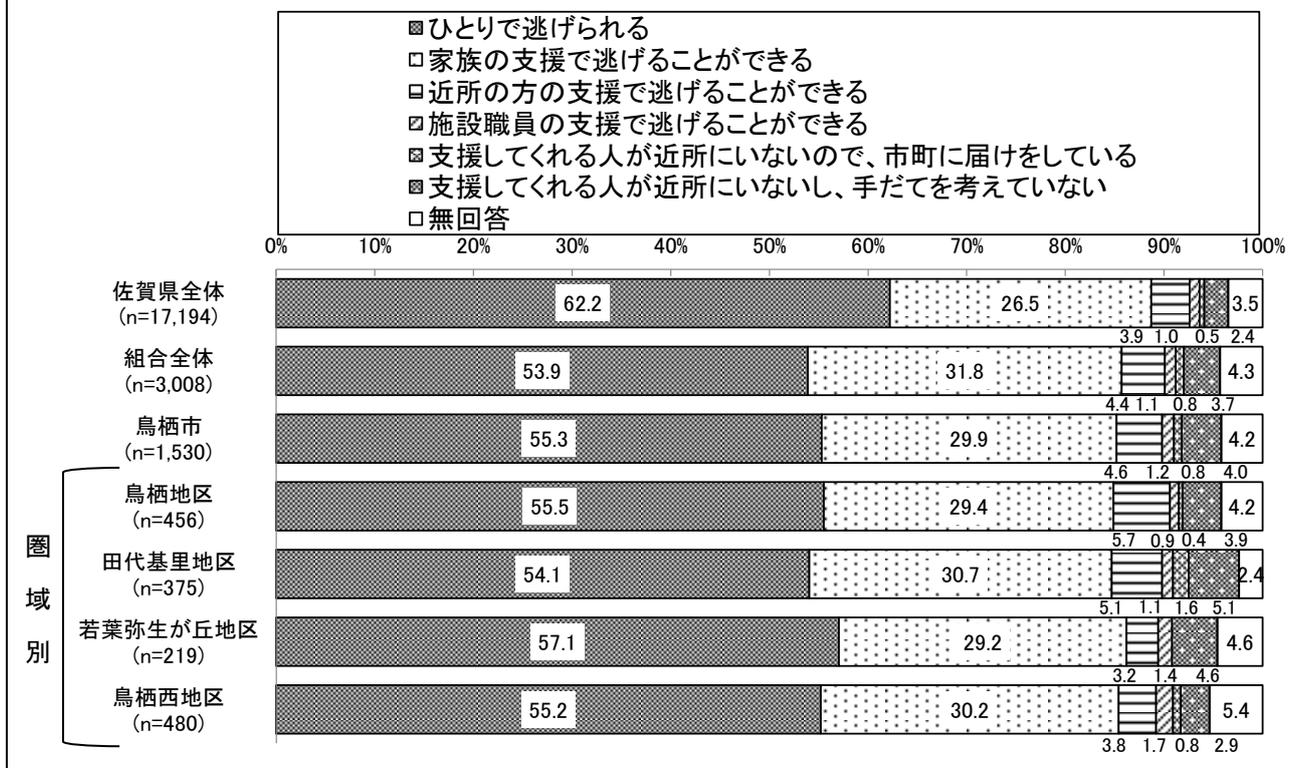
台風などの災害での避難場所について、鳥栖市では「公民館などの公共の避難所に行く」(67.2%)が最も高くなっている。

「公共の避難所を知らないし、避難所がない」の割合は、各圏域で3~4%みられる。

② 台風などの災害での避難方法

問8 (4) 台風などの災害で、避難が必要な場合、どのように避難しますか

図表-22 台風などの災害での避難方法



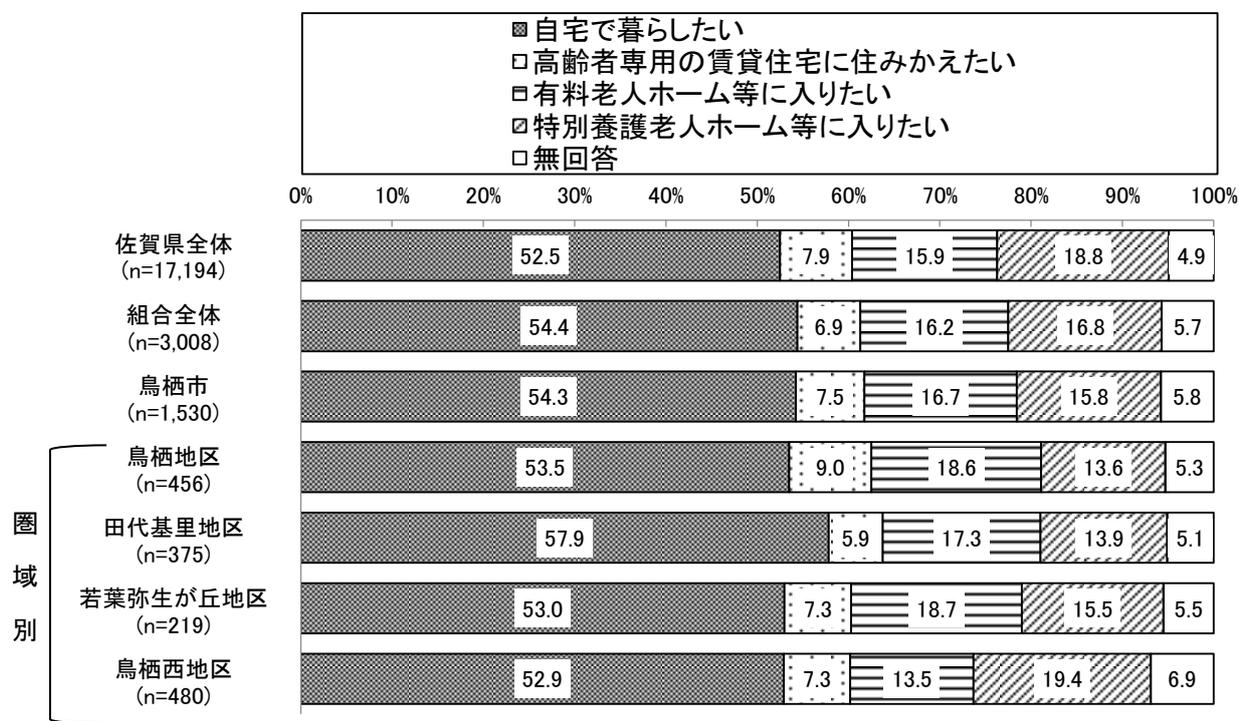
台風などの災害での避難方法について、鳥栖市では「ひとりで逃げられる」(55.3%)が最も高く、次いで「家族の支援で逃げることができる」(29.9%)と続いている。

圏域別にみると、「支援してくれる人が近所にいないし、手だてを考えていない」は各圏域で3~5%となっている。

6. 介護が必要となった場合の住まいの希望

問9 自分だけの力で普段の生活を営むことが難しくなった場合の住まいはどのように考えていますか

図表-23 介護が必要となった場合の住まいの希望について



介護が必要となった場合の住まいの希望についてたずねたところ、鳥栖市では「自宅で暮らしたい」(54.3%)の割合が最も高く、次いで「有料老人ホーム等に入りたい」(16.7%)、「特別養護老人ホーム等に入りたい」(15.8%)、「高齢者専用の賃貸住宅に住みかえたい」(7.5%)となっている。

圏域別にみると、田代基里地区では「自宅で暮らしたい」(57.9%)の割合が他の圏域に比べて高く、鳥栖西地区では「特別養護老人ホーム等に入りたい」(19.4%)の割合が高くなっている。

Ⅱ. 在宅介護実態調査

1. 調査の概要

(1) 調査の目的

令和3年度から令和5年度を実施期間とする「鳥栖市高齢者福祉計画」の策定において、「高齢者等の適切な在宅生活の継続」と「家族等介護者の就労継続」の実現に向けた介護サービスの在り方を検討することを目的とする。

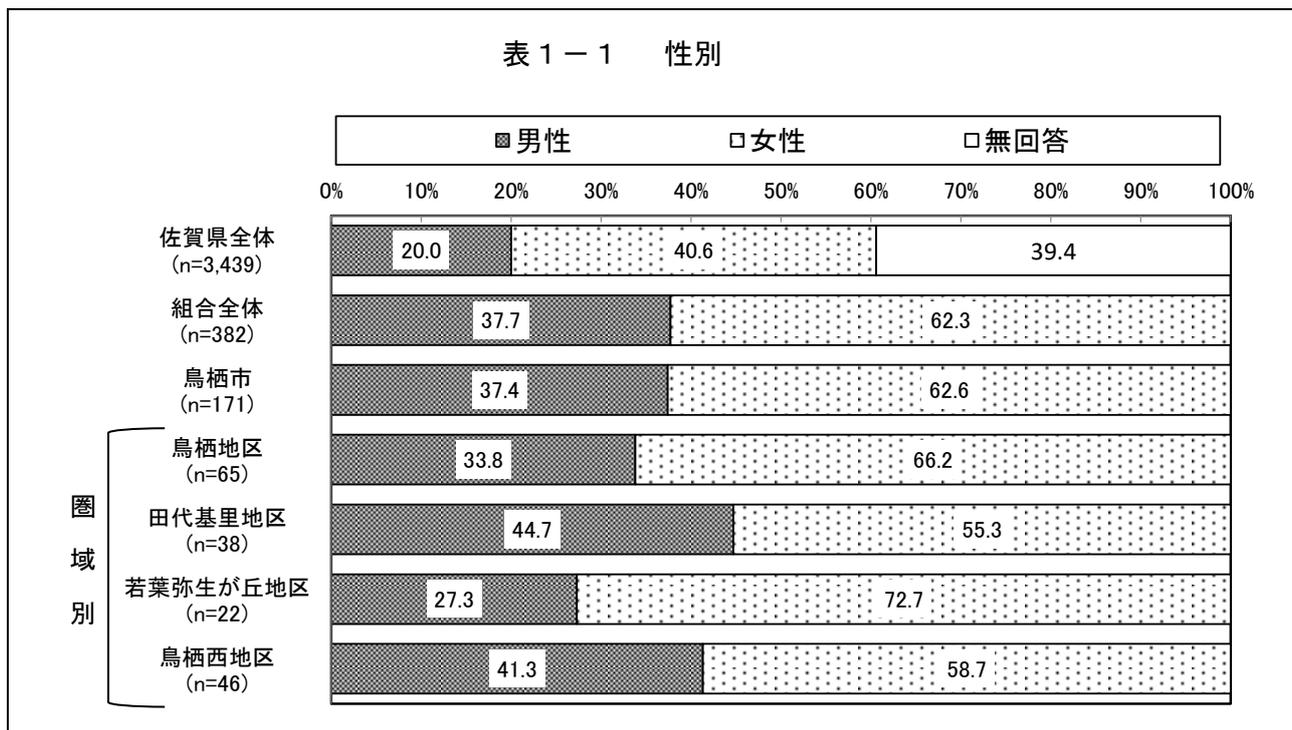
(2) 調査設計及び回収結果

調査対象と 標本数	更新申請・区分変更申請に伴う認定調査を受ける在宅の要介護認定者 987人 (うち鳥栖市 495人)
調査方法	郵送配布－郵送回収
有効回収数 (率)	382人 (38.7%) (うち鳥栖市181人)
実施年月	令和元年10月～令和2年2月

2. 回答者の基本属性

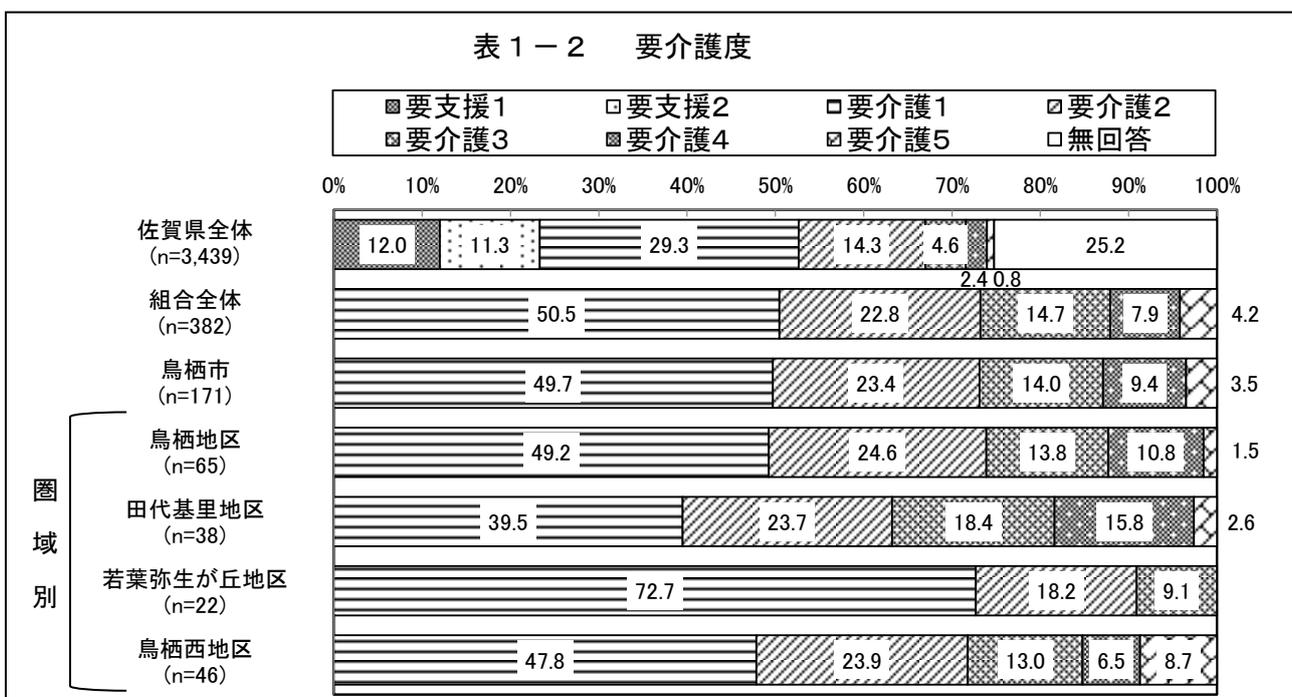
(1) 基本属性

① 性別



鳥栖市全体では、「男性」が37.4%、「女性」が62.6%となっている。
圏域別にみると、若葉弥生が丘地区で「女性」が72.7%と多くなっている。

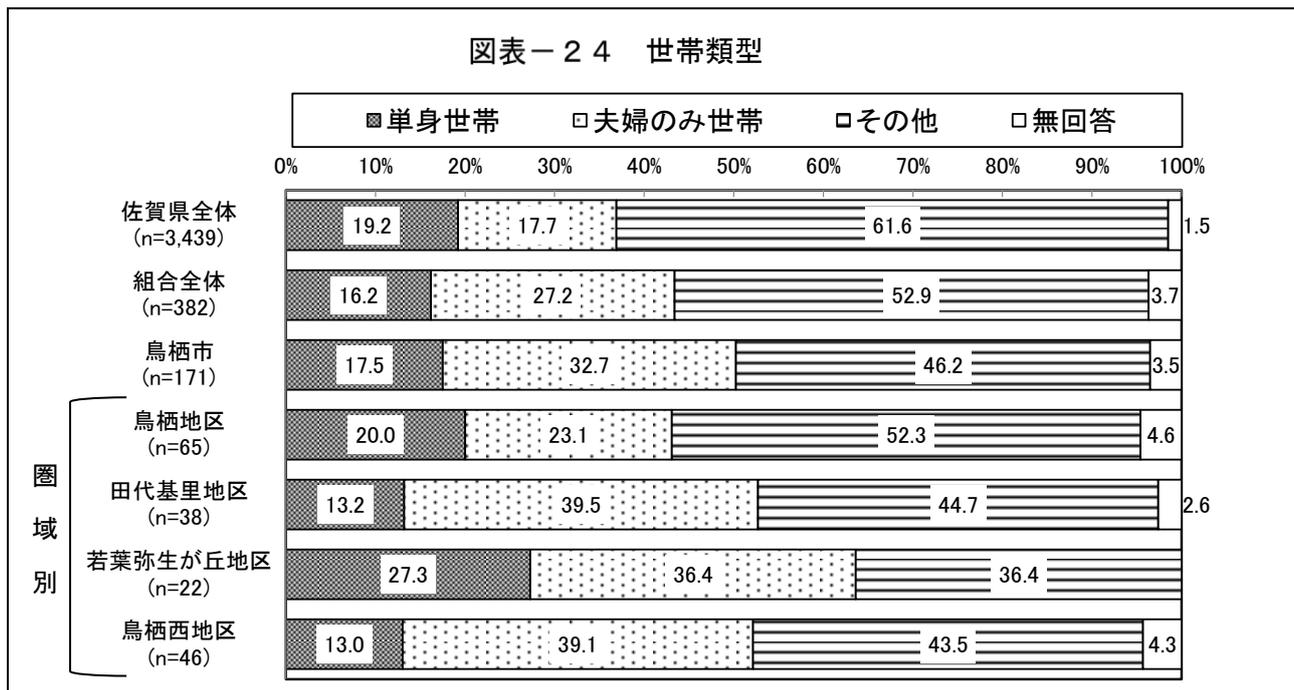
② 要介護度



鳥栖市では、「要介護1」の割合が49.7%と最も高く、次いで「要介護2」(23.4%)、「要介護3」(14.0%)となっている。圏域別にみると、若葉弥生が丘地区で「要介護1」(72.7%)の割合が高く、田代基里地区では「要介護3」(18.4%)、「要介護4」(15.8%)の割合が他の圏域に比べて高くなっている。

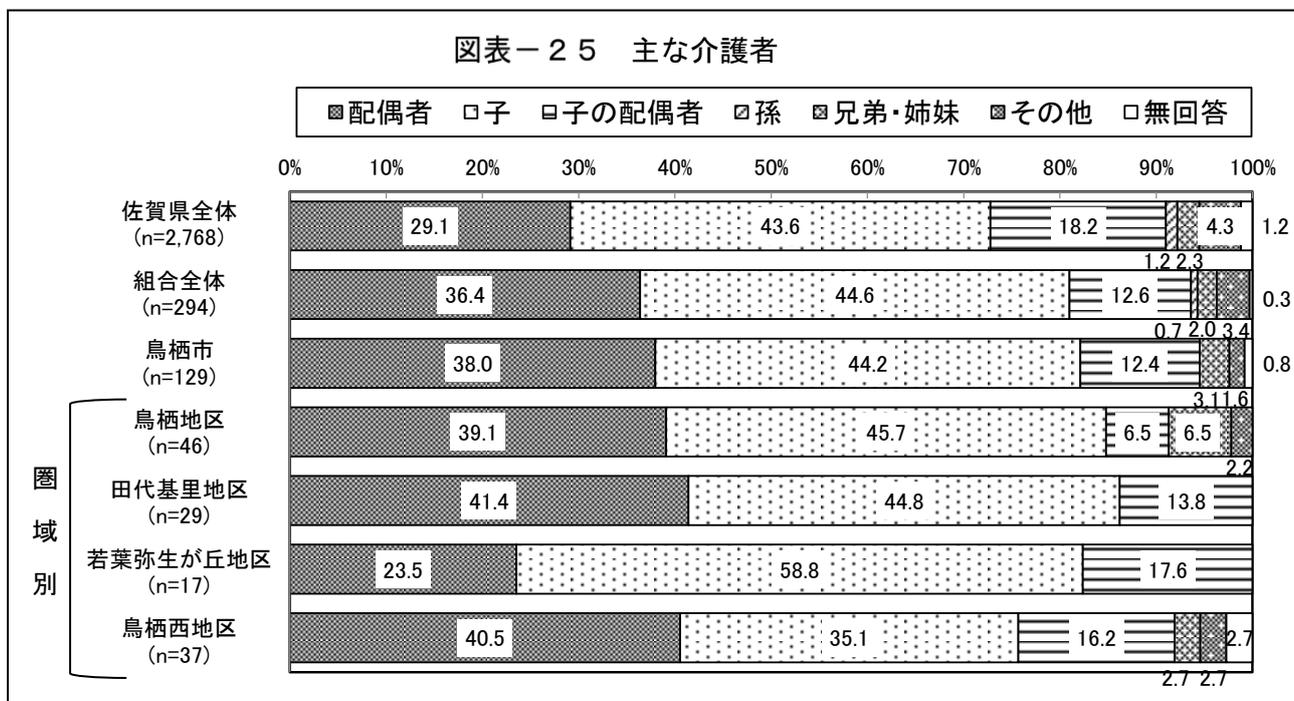
3. 家族や生活状況について

(1) 世帯類型



世帯類型について、鳥栖市では「夫婦のみ世帯」が32.7%、「単身世帯」が17.5%となっている。圏域別にみると、若葉弥生が丘地区では「単身世帯」(27.3%)の割合が他の圏域に比べて高くなっている。

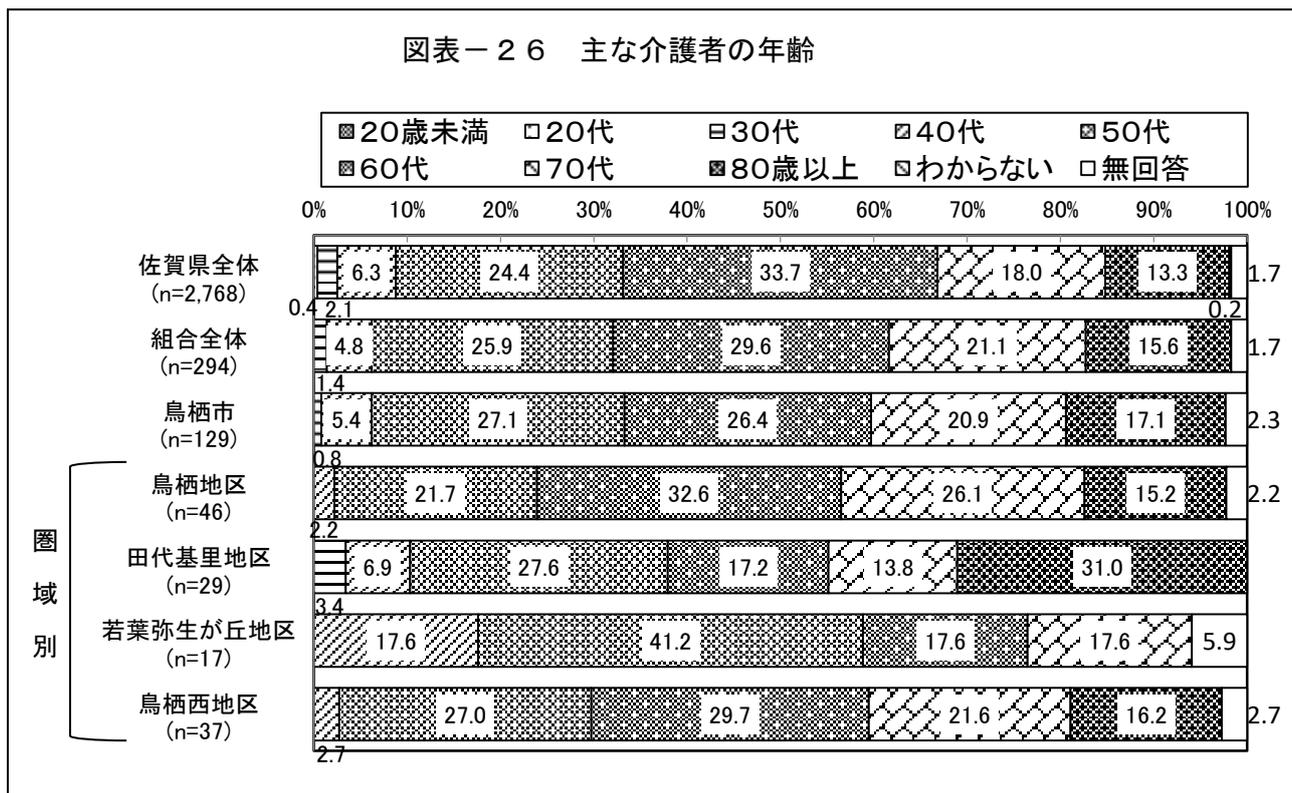
(2) 主な介護者



主な介護者は、鳥栖市では「子」の割合が44.2%と最も高く、次いで「配偶者」(38.0%)、「子の配偶者」(12.4%)となっている。

圏域別にみると、若葉弥生が丘地区では「子」(58.8%)の割合が他の圏域に比べて高くなっている。

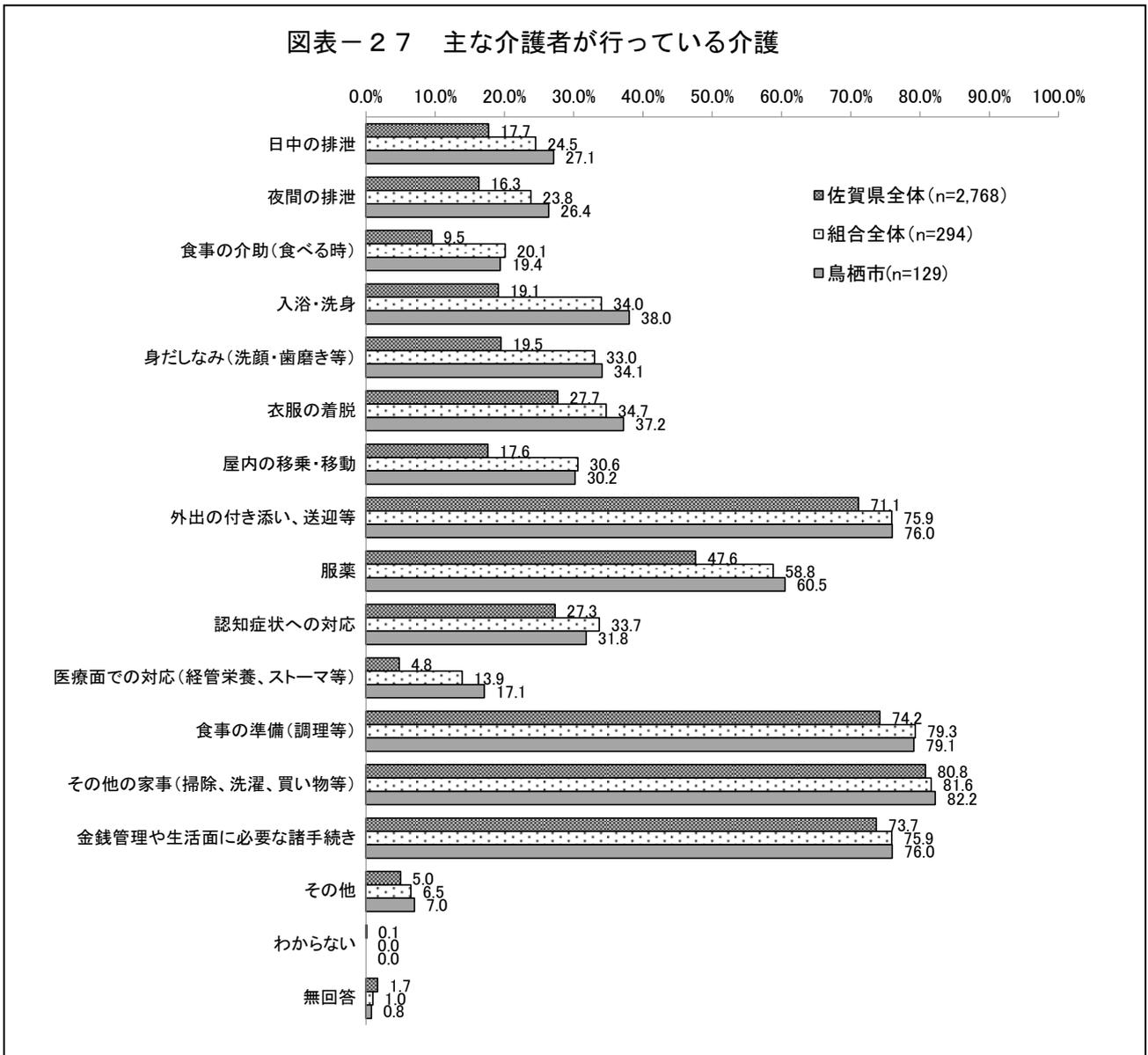
(3) 主な介護者の年齢



主な介護者の年齢は、鳥栖市では「50代」が27.1%と最も高く、次いで「60代」(26.4%)、「70代」(20.9%)となっている。

圏域別にみると、田代基里地区では「80歳以上」の割合が31.0%と他の圏域に比べて高くなっている。また若葉弥生が丘地区では「40代」の割合が17.6%と他の圏域に比べて高くなっている。

(4) 主な介護者が行っている介護



主な介護者が行っている介護についてたずねたところ、鳥栖市では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」の割合が82.2%と最も高く、次いで「食事の準備（調理等）」(79.1%)、「外出の付き添い、送迎等」「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」(76.0%)となっている。

要介護度別にみると、「夜間の排泄」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」は要介護度が高くなるにつれて割合も高くなっている。

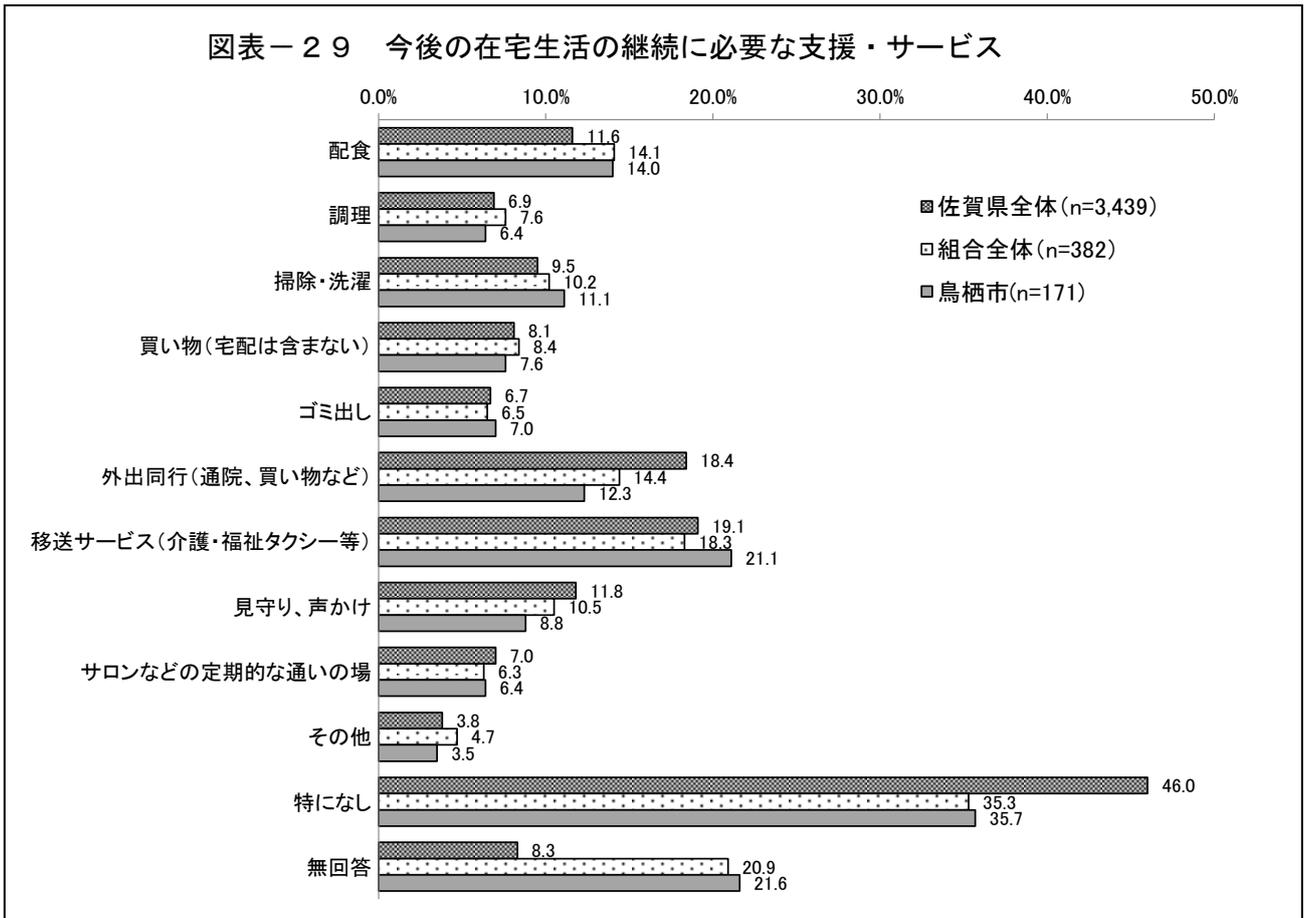
圏域別にみると、鳥栖地区では「入浴・洗身」の割合が他の圏域に比べて高く、田代基里地区では「日中の排泄」「食事の介助（食べる時）」「身だしなみ（洗顔・歯磨き等）」「衣服の着脱」「屋内の移乗・移動」「認知症状への対処」、若葉弥生が丘地区では「食事の準備（調理等）」「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」、鳥栖西地区では「服薬」「医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）」「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」の割合が高くなっている。

図表－２８ 要介護度別、日常生活圏域別 主な介護者が行っている介護（％）

	調査数「人」	主な介護者が行っている介護									
		日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助（食べる時）	入浴・洗身	身だしなみ（洗顔・歯磨き等）	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い・送迎等	服薬	
鳥栖市全体	129	27.1	26.4	19.4	38.0	34.1	37.2	30.2	76.0	60.5	
要介護度	要介護1	64	7.8	10.9	6.3	32.8	17.2	28.1	15.6	79.7	50.0
	要介護2	34	23.5	17.6	23.5	44.1	26.5	20.6	29.4	85.3	58.8
	要介護3	17	64.7	64.7	35.3	47.1	76.5	76.5	58.8	58.8	88.2
	要介護4	10	80.0	70.0	60.0	30.0	80.0	80.0	70.0	70.0	70.0
	要介護5	4	75.0	75.0	25.0	50.0	75.0	50.0	50.0	25.0	100.0
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
圏域 日常生活	鳥栖地区	46	17.4	15.2	8.7	45.7	32.6	32.6	26.1	76.1	58.7
	田代基里地区	29	41.4	37.9	37.9	31.0	48.3	48.3	41.4	79.3	58.6
	若葉弥生が丘地区	17	17.6	17.6	17.6	41.2	17.6	29.4	29.4	76.5	47.1
	鳥栖西地区	37	32.4	35.1	18.9	32.4	32.4	37.8	27.0	73.0	70.3
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

	調査数「人」	主な介護者が行っている介護							
		認知症状への対応	医療面での対応（経管栄養等）	食事の準備（調理等）	掃除、洗濯、買い物等の家事	その他の家事	金銭管理や生活手続き	その他	わからない
鳥栖市全体	129	31.8	17.1	79.1	82.2	76.0	7.0	-	0.8
要介護度	要介護1	64	17.2	82.8	85.9	68.8	4.7	-	1.6
	要介護2	34	14.7	73.5	70.6	70.6	11.8	-	-
	要介護3	17	5.9	88.2	82.4	94.1	11.8	-	-
	要介護4	10	20.0	80.0	90.0	100.0	-	-	-
	要介護5	4	75.0	25.0	100.0	100.0	-	-	-
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-
圏域 日常生活	鳥栖地区	46	15.2	80.4	82.6	73.9	6.5	-	-
	田代基里地区	29	13.8	79.3	82.8	72.4	-	-	-
	若葉弥生が丘地区	17	11.8	82.4	88.2	70.6	5.9	-	5.9
	鳥栖西地区	37	24.3	75.7	78.4	83.8	13.5	-	-
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-

(5) 今後の在宅生活の継続に必要な支援・サービス



今後の在宅生活の継続に必要な支援・サービスについてたずねたところ、鳥栖市では「特になし」の割合が35.7%と最も高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」（21.1%）、「配食」（14.0%）、「外出同行（通院、買い物など）」（12.3%）となっている。

要介護度別にみると、要介護度が高くなるにつれて「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」の割合も高くなっている。

圏域別にみると、鳥栖地区では「掃除・洗濯」の割合が他の圏域に比べて高く、田代基里地区では「配食」や「外出同行（通院、買い物など）」、若葉弥生が丘地区では「配食」、鳥栖西地区では「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」や「サロンなどの定期的な通いの場」の割合が他の圏域に比べて高くなっている。

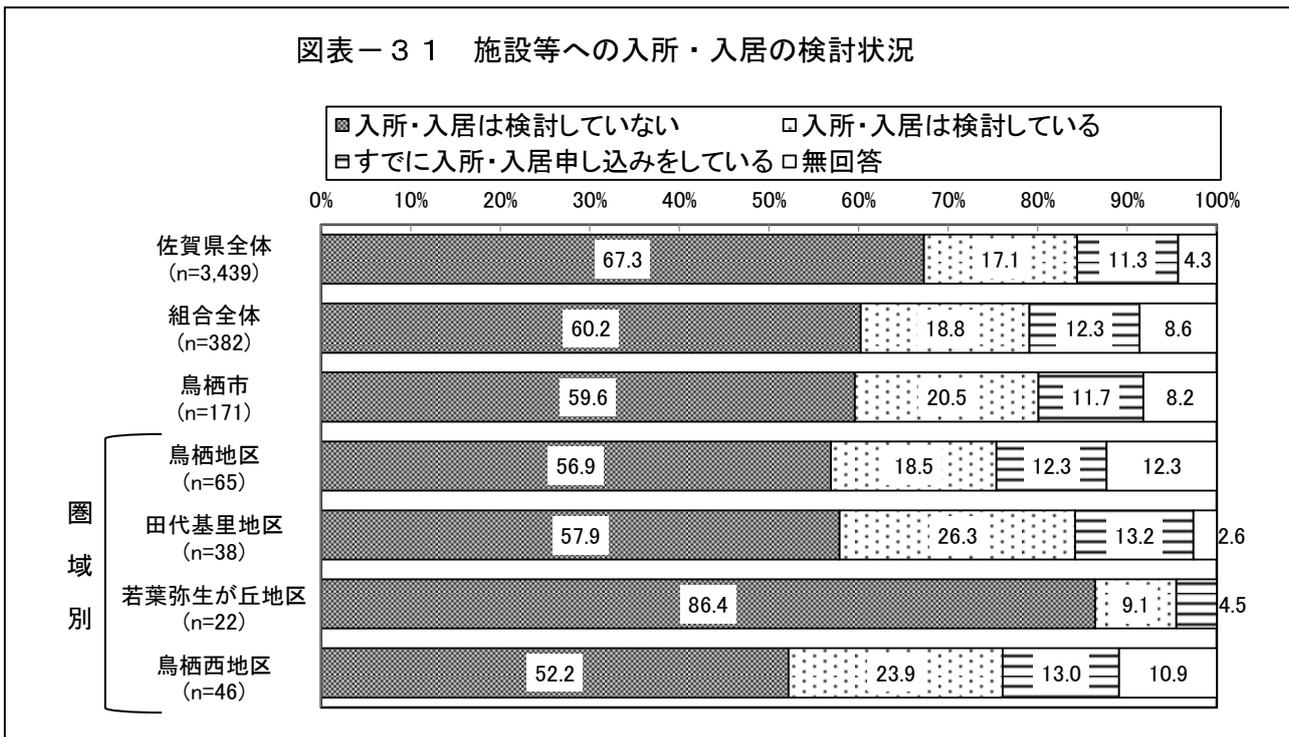
世帯類型別にみると、単身世帯では他の世帯類型に比べて多くの項目でニーズが高く、特に「配食」「掃除・洗濯」「外出同行（通院、買い物など）」の割合が2割強となっている。

図表－３０ 要介護度別、日常生活圏域別、世帯類型別
今後の在宅生活の継続に必要な支援・サービス（％）

	調査数「人」	今後の在宅生活の継続に必要な支援・サービス												
		配食	調理	掃除・洗濯	買い物（宅配は含まない）	ゴミ出し	外出同行（通院、買い物など）	福祉サービス（介護・福祉タクシー等）	見守り、声かけ	通いの場	その他	特になし	無回答	
鳥栖市全体	171	14.0	6.4	11.1	7.6	7.0	12.3	21.1	8.8	6.4	3.5	35.7	21.6	
要介護度	要介護1	85	12.9	5.9	14.1	8.2	8.2	10.6	17.6	8.2	4.7	3.5	37.6	18.8
	要介護2	40	22.5	7.5	10.0	10.0	7.5	12.5	20.0	15.0	5.0	5.0	35.0	22.5
	要介護3	24	12.5	4.2	8.3	8.3	4.2	20.8	20.8	8.3	16.7	-	45.8	25.0
	要介護4	16	6.3	12.5	6.3	-	6.3	12.5	25.0	-	6.3	6.3	18.8	31.3
	要介護5	6	-	-	-	-	-	-	66.7	-	-	-	16.7	16.7
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
日常生活圏域	鳥栖地区	65	9.2	6.2	15.4	10.8	6.2	12.3	16.9	10.8	6.2	3.1	35.4	32.3
	田代基里地区	38	18.4	7.9	7.9	5.3	5.3	18.4	26.3	10.5	2.6	5.3	39.5	7.9
	若葉弥生が丘地区	22	18.2	-	9.1	9.1	9.1	9.1	-	4.5	4.5	4.5	36.4	31.8
	鳥栖西地区	46	15.2	8.7	8.7	4.3	8.7	8.7	32.6	6.5	10.9	2.2	32.6	13.0
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
世帯類型	単身世帯	30	23.3	16.7	23.3	16.7	13.3	23.3	10.0	6.7	16.7	3.3	20.0	20.0
	夫婦のみ世帯	56	14.3	7.1	8.9	5.4	8.9	7.1	30.4	12.5	3.6	1.8	35.7	21.4
	その他	79	11.4	1.3	7.6	6.3	2.5	11.4	20.3	7.6	5.1	5.1	41.8	21.5
	無回答	6	-	16.7	16.7	-	16.7	16.7	-	-	-	-	33.3	33.3

(6) 施設等への入所・入居の検討状況

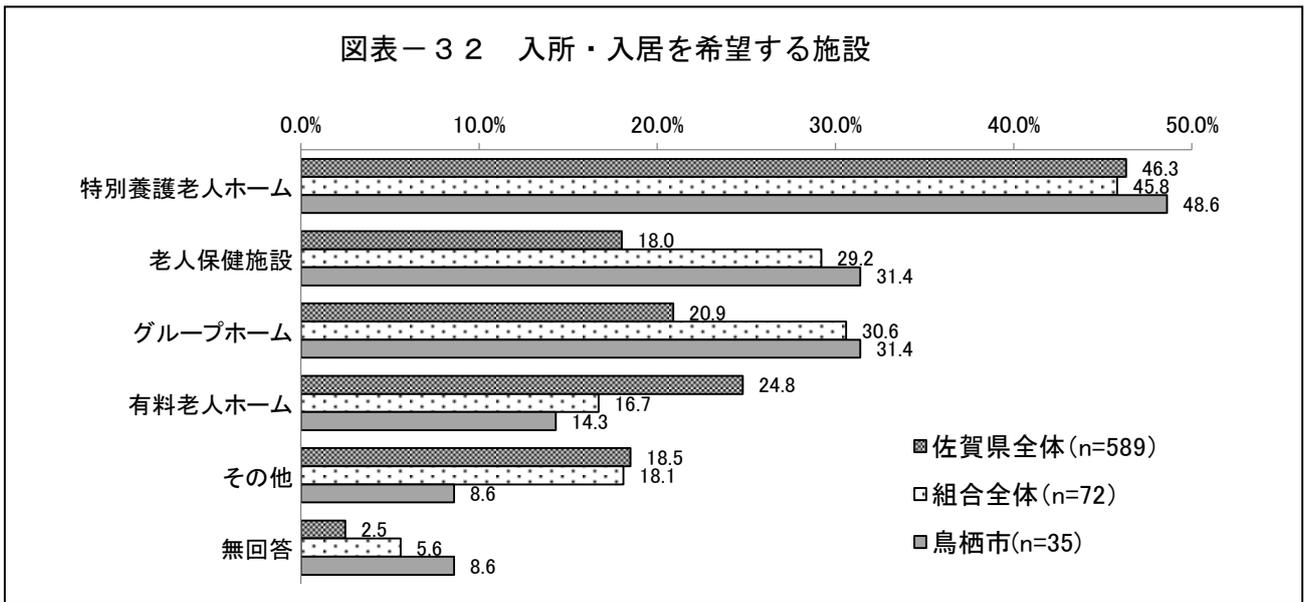
図表－3 1 施設等への入所・入居の検討状況



施設等への入所・入居の検討状況についてたずねたところ、鳥栖市では「入所・入居は検討していない」の割合が59.6%と最も高く、次いで「入所・入居は検討している」(20.5%)、「すでに入所・入居申し込みをしている」(11.7%)となっている。

圏域別にみると、若葉弥生が丘地区では「入所・入居は検討していない」の割合が86.4%と他の圏域と比べて大きな差がある。

(7) 入所・入居を希望する施設



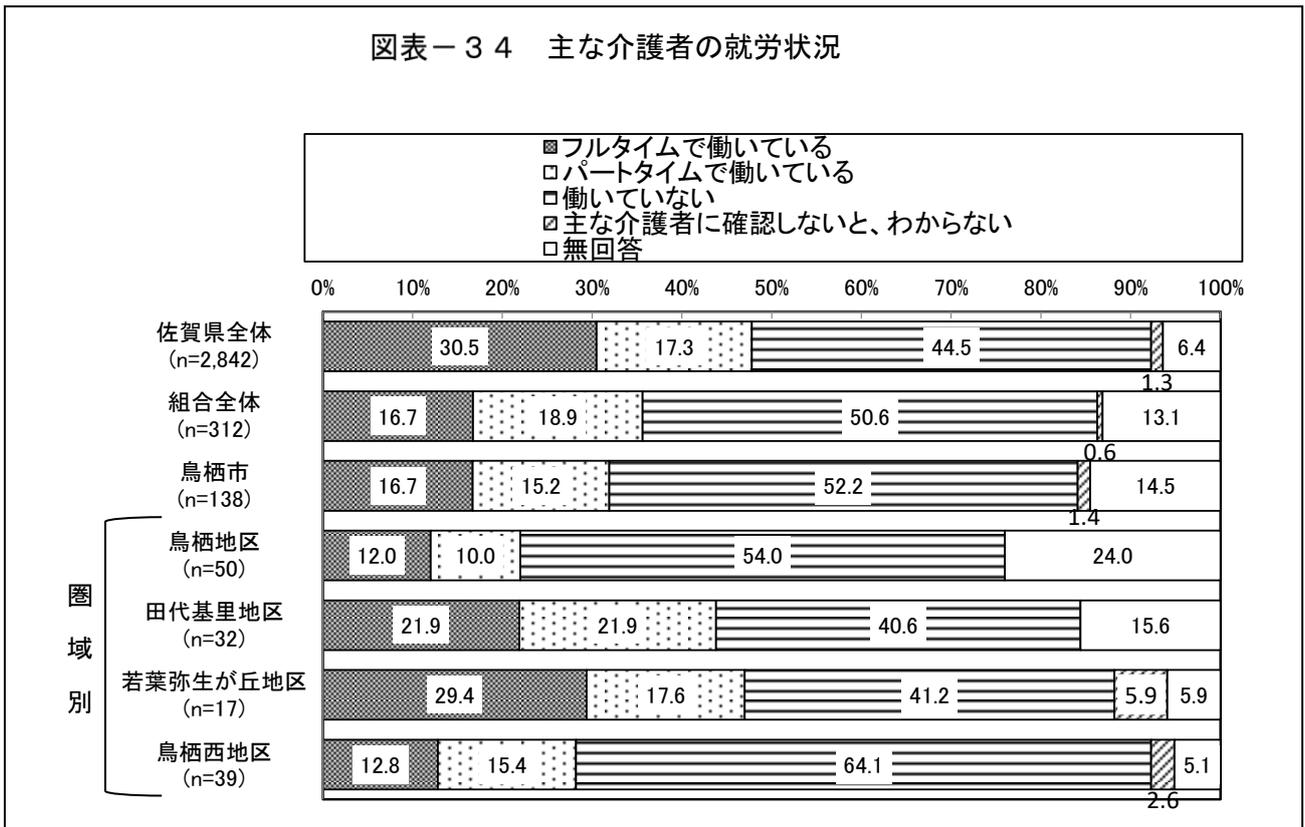
入所・入居を希望する施設についてたずねたところ、鳥栖市では「特別養護老人ホーム」の割合が48.6%と最も高く、次いで「グループホーム」、「老人保健施設」(31.4%)となっている。

図表－３３ 要介護度別、日常生活圏域別 入所・入居を希望する施設 (%)

	調査数「人」	入所・入居を希望する施設						
		特別養護老人ホーム	老人保健施設	グループホーム	有料老人ホーム	その他	無回答	
鳥栖市全体	35	48.6	31.4	31.4	14.3	8.6	8.6	
要介護度	要介護1	16	43.8	43.8	43.8	18.8	-	12.5
	要介護2	7	42.9	28.6	42.9	28.6	14.3	-
	要介護3	5	60.0	-	20.0	-	20.0	-
	要介護4	7	57.1	28.6	-	-	14.3	14.3
	要介護5	-	-	-	-	-	-	-
	無回答	-	-	-	-	-	-	-
日常生活圏域	鳥栖地区	12	50.0	41.7	41.7	25.0	8.3	-
	田代基里地区	10	40.0	20.0	20.0	10.0	-	20.0
	若葉弥生が丘地区	2	-	-	-	50.0	-	50.0
	鳥栖西地区	11	63.6	36.4	36.4	-	18.2	-
	無回答	-	-	-	-	-	-	-

4. 主な介護者の就労等に関する調査結果

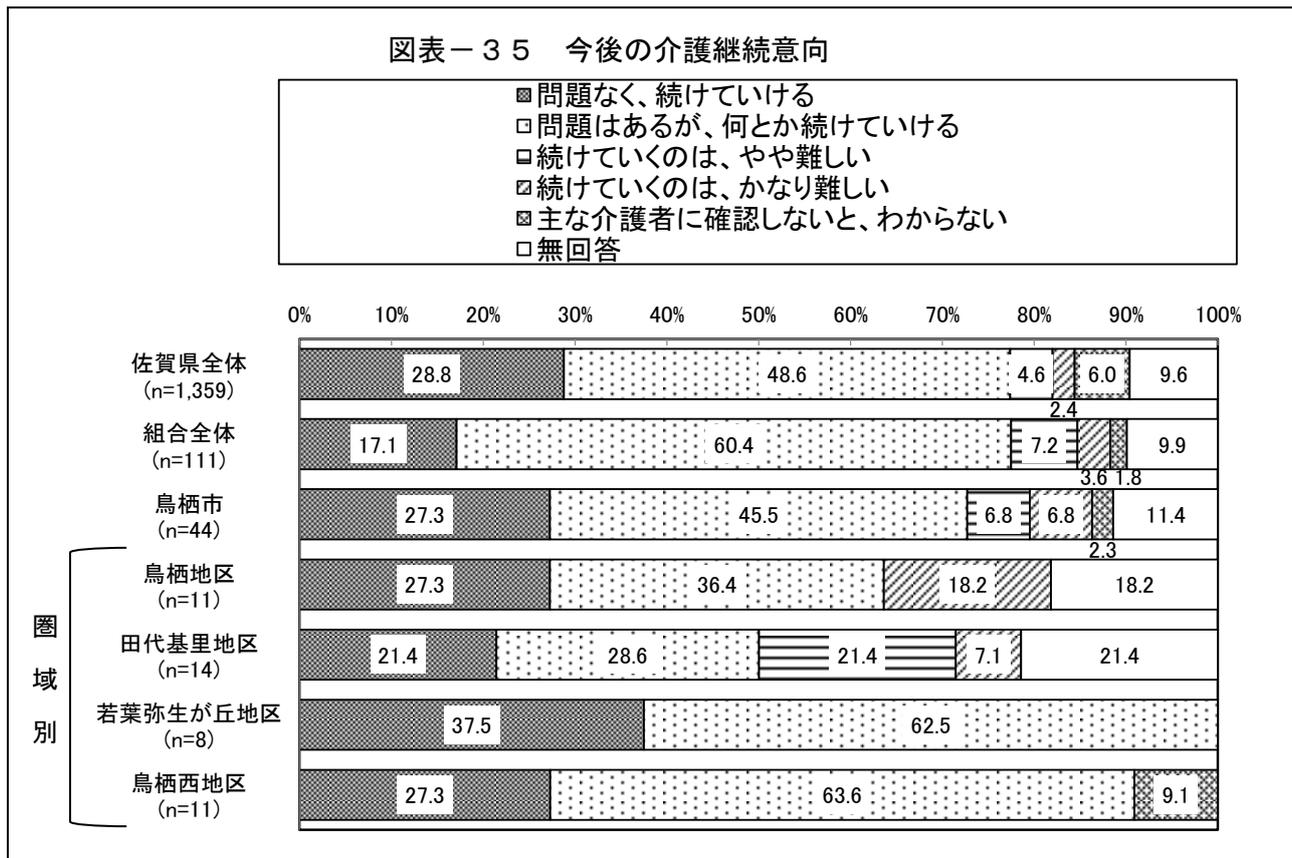
(1) 主な介護者の就労状況



主な介護者の就労状況についてたずねたところ、鳥栖市では「働いていない」の割合が52.2%と最も高く、次いで「フルタイムで働いている」(16.7%)、「パートタイムで働いている」(15.2%)、となっている。

圏域別にみると、若葉弥生が丘地区では「フルタイム」(29.4%)の割合が他の圏域に比べて高く、田代基里地区では「パートタイム」(21.9%)、鳥栖西地区では「働いていない」(64.1%)の割合が他の圏域に比べて高くなっている。

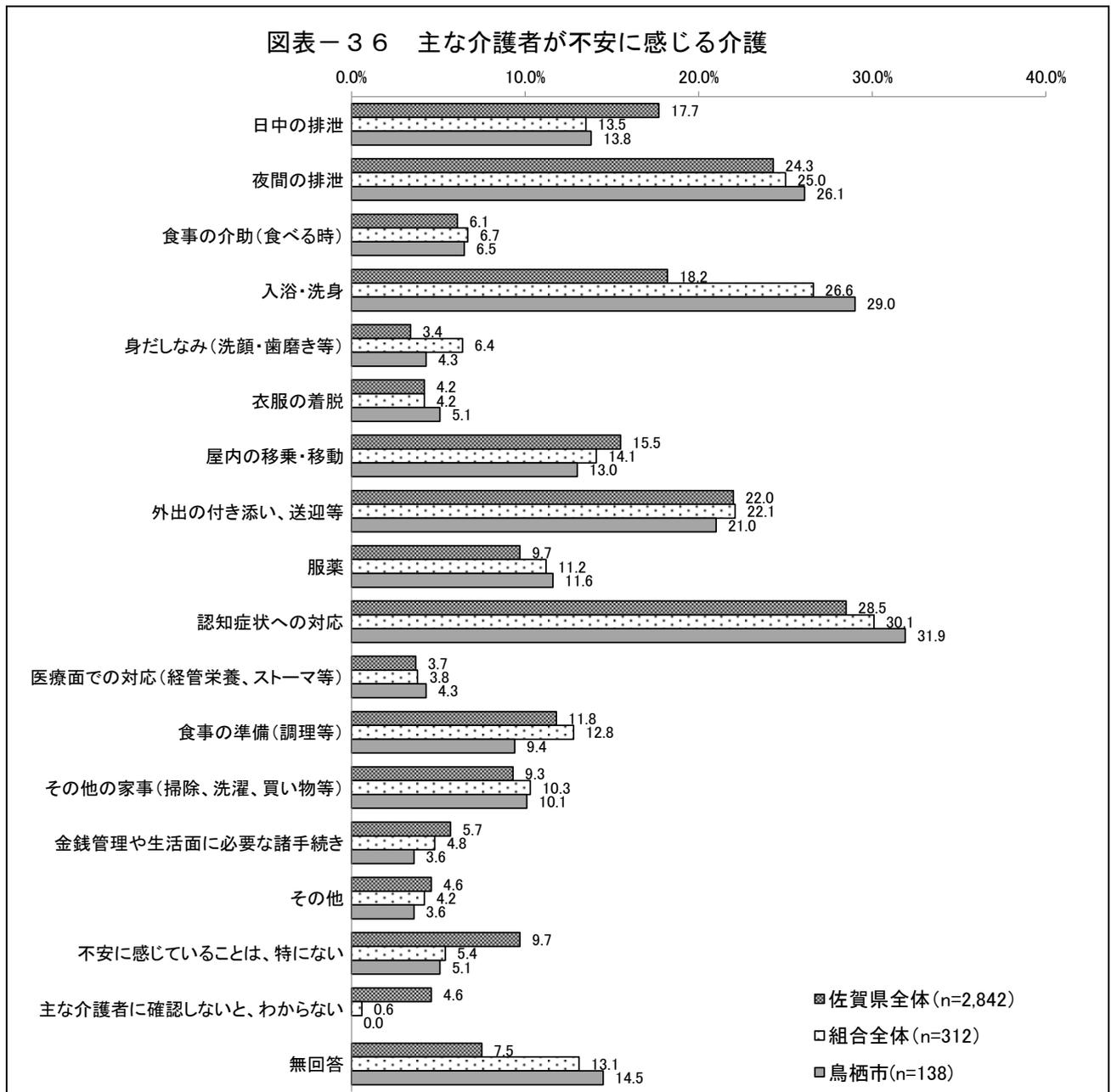
(2) 今後の介護継続意向



今後の介護継続意向についてたずねたところ、鳥栖市では「問題はあるが、何とか続けていける」の割合が45.5%と最も高く、次いで「問題なく、続けていける」(27.3%)、「続けていくのは、やや難しい」、「続けていくのは、かなり難しい」(6.8%)の順となっている。

圏域別にみると、鳥栖地区で「続けていくのは、かなり難しい」が18.2%となっている。

(3) 主な介護者が不安に感じる介護



主な介護者が不安に感じる介護についてたずねたところ、鳥栖市では「認知症状への対応」の割合が31.9%と最も高く、次いで「入浴・洗身」(29.0%)、「夜間の排泄」(26.1%)となっている。

要介護度別にみると、要介護度が高くなるにつれて「食事の介助(食べる時)」の割合が高くなっている。

圏域別にみると、鳥栖地区では「日中の排泄」の割合が他の圏域に比べて高く、田代基里地区では「夜間の排泄」や「屋内の移乗・移動」、若葉弥生が丘地区では「食事の準備(調理等)」「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」、鳥栖西地区では「服薬」「医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)」「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」の割合が高くなっている。

介護者の性別にみると、男性は女性に比べて「食事の介助(食べる時)」や「食事の準備(調理等)」の割合が高くなっている。

介護者の年齢別にみると、概ね年齢とともに「外出の付き添い、送迎等」の割合が高くなっている。

図表－３７ 要介護度別、日常生活圏域別、介護者の性別、介護者の年齢別
 主な介護者が不安に感じる介護（％）

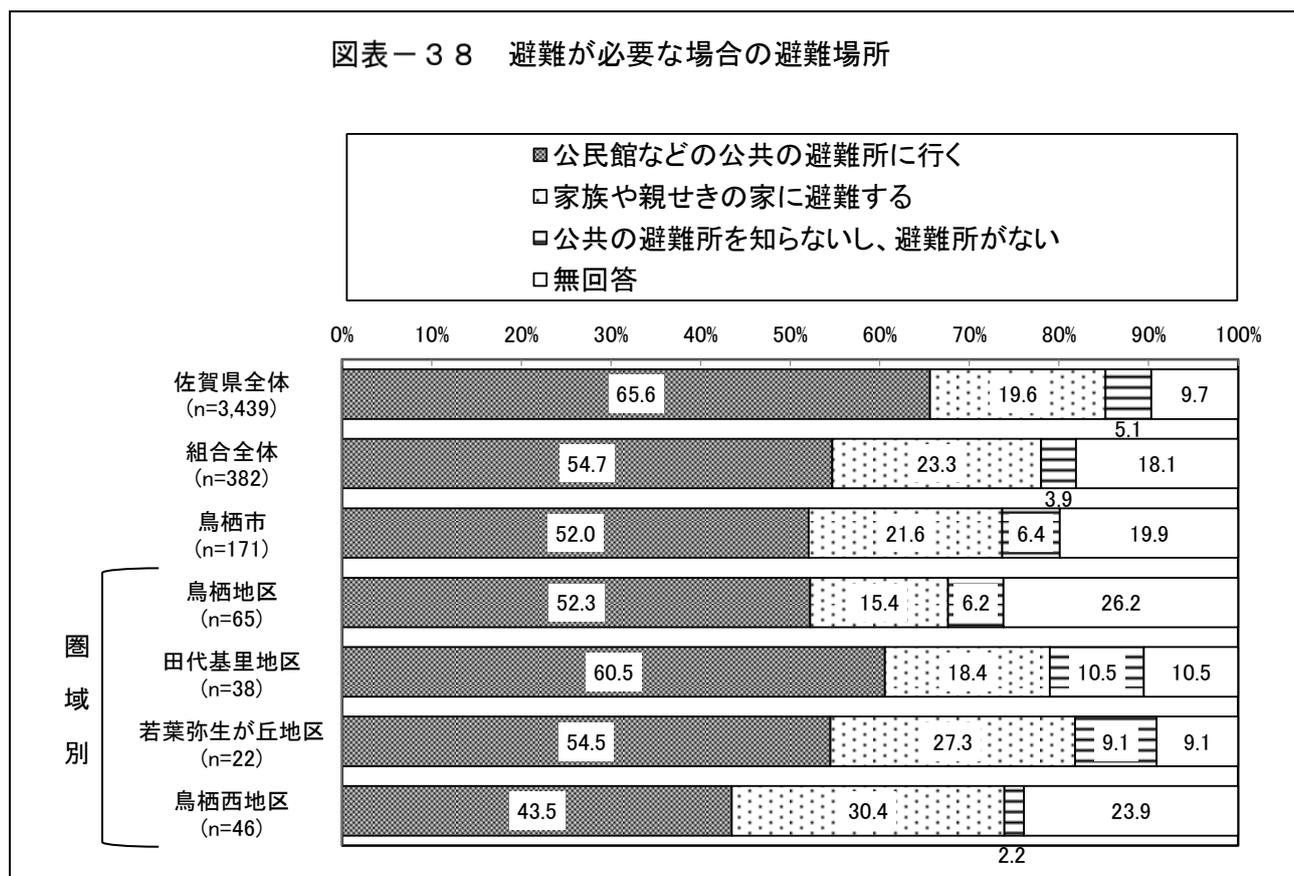
	調査数「人」	主な介護者が不安に感じる介護									
		日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助（食べる時）	入浴・洗身	顔身だしなみ（洗顔・歯磨き等）	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	送迎等の付き添い、外出の送り迎え	服薬	
鳥栖市全体	138	13.8	26.1	6.5	29.0	4.3	5.1	13.0	21.0	11.6	
要介護度	要介護1	69	7.2	30.4	-	39.1	4.3	4.3	10.1	14.5	
	要介護2	34	20.6	11.8	8.8	23.5	-	8.8	11.8	14.7	
	要介護3	18	22.2	27.8	11.1	16.7	5.6	-	27.8	5.6	
	要介護4	13	15.4	46.2	23.1	7.7	7.7	7.7	7.7	-	
	要介護5	4	25.0	-	25.0	25.0	25.0	-	25.0	-	
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
日常生活圏域	鳥栖市鳥栖地区	50	20.0	22.0	4.0	30.0	6.0	6.0	8.0	12.0	
	鳥栖市田代基里地区	32	6.3	40.6	9.4	34.4	6.3	9.4	21.9	6.3	
	鳥栖市若葉弥生が丘地区	17	-	23.5	-	23.5	-	-	-	5.9	
	鳥栖市鳥栖西地区	39	17.9	20.5	10.3	25.6	2.6	2.6	17.9	17.9	
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
介護者の性別	男性	38	13.2	18.4	10.5	26.3	10.5	2.6	10.5	10.5	
	女性	90	15.6	31.1	4.4	32.2	1.1	5.6	15.6	12.2	
	無回答	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
介護者の年齢	20歳未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	20代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	30代	1	100.0	100.0	-	-	-	100.0	-	-	
	40代	7	14.3	-	14.3	14.3	-	-	14.3	-	
	50代	35	17.1	34.3	2.9	40.0	2.9	5.7	14.3	11.4	
	60代	34	14.7	20.6	11.8	14.7	5.9	2.9	14.7	11.8	
	70代	27	11.1	25.9	3.7	33.3	-	3.7	14.8	14.8	
	80歳以上	22	9.1	31.8	4.5	45.5	9.1	9.1	13.6	9.1	
	わからない	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無回答	3	33.3	33.3	-	-	-	-	-	33.3		

	調査数「人」	主な介護者が不安に感じる介護									
		認知症状への対応	医療面での対応（経管栄養等）	食事の準備（調理等）	除菌・洗濯・買い物	その他の家事（掃除等）	金銭管理や生活面	その他	不安に感じていること	主として、わが家確認	無回答
鳥栖市全体	138	31.9	4.3	9.4	10.1	3.6	3.6	5.1	-	14.5	
要介護度	要介護1	69	29.0	4.3	13.0	11.6	2.9	4.3	4.3	10.1	
	要介護2	34	41.2	2.9	8.8	14.7	2.9	2.9	-	23.5	
	要介護3	18	33.3	-	-	5.6	5.6	5.6	11.1	11.1	
	要介護4	13	23.1	7.7	7.7	-	7.7	-	7.7	23.1	
	要介護5	4	25.0	25.0	-	-	-	-	25.0	-	
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
日常生活圏域	鳥栖市鳥栖地区	50	26.0	2.0	4.0	6.0	2.0	2.0	2.0	26.0	
	鳥栖市田代基里地区	32	37.5	-	6.3	9.4	3.1	-	6.3	6.3	
	鳥栖市若葉弥生が丘地区	17	29.4	-	23.5	23.5	-	17.6	5.9	17.6	
	鳥栖市鳥栖西地区	39	35.9	12.8	12.8	10.3	7.7	2.6	7.7	5.1	
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
介護者の性別	男性	38	26.3	5.3	18.4	13.2	2.6	-	7.9	18.4	
	女性	90	35.6	3.3	6.7	8.9	3.3	5.6	4.4	10.0	
	無回答	1	100.0	100.0	-	-	100.0	-	-	-	
介護者の年齢	20歳未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	20代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	30代	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
	40代	7	14.3	-	28.6	28.6	14.3	28.6	14.3	-	
	50代	35	51.4	-	11.4	14.3	2.9	-	-	-	
	60代	34	26.5	5.9	11.8	11.8	2.9	5.9	11.8	11.8	
	70代	27	25.9	3.7	7.4	3.7	-	3.7	-	29.6	
	80歳以上	22	31.8	9.1	4.5	4.5	4.5	-	9.1	13.6	
	わからない	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無回答	3	33.3	33.3	-	-	33.3	-	-	33.3		

5. 災害時や情報収集に関する調査結果

(1) 避難が必要な場合の避難場所

図表－38 避難が必要な場合の避難場所

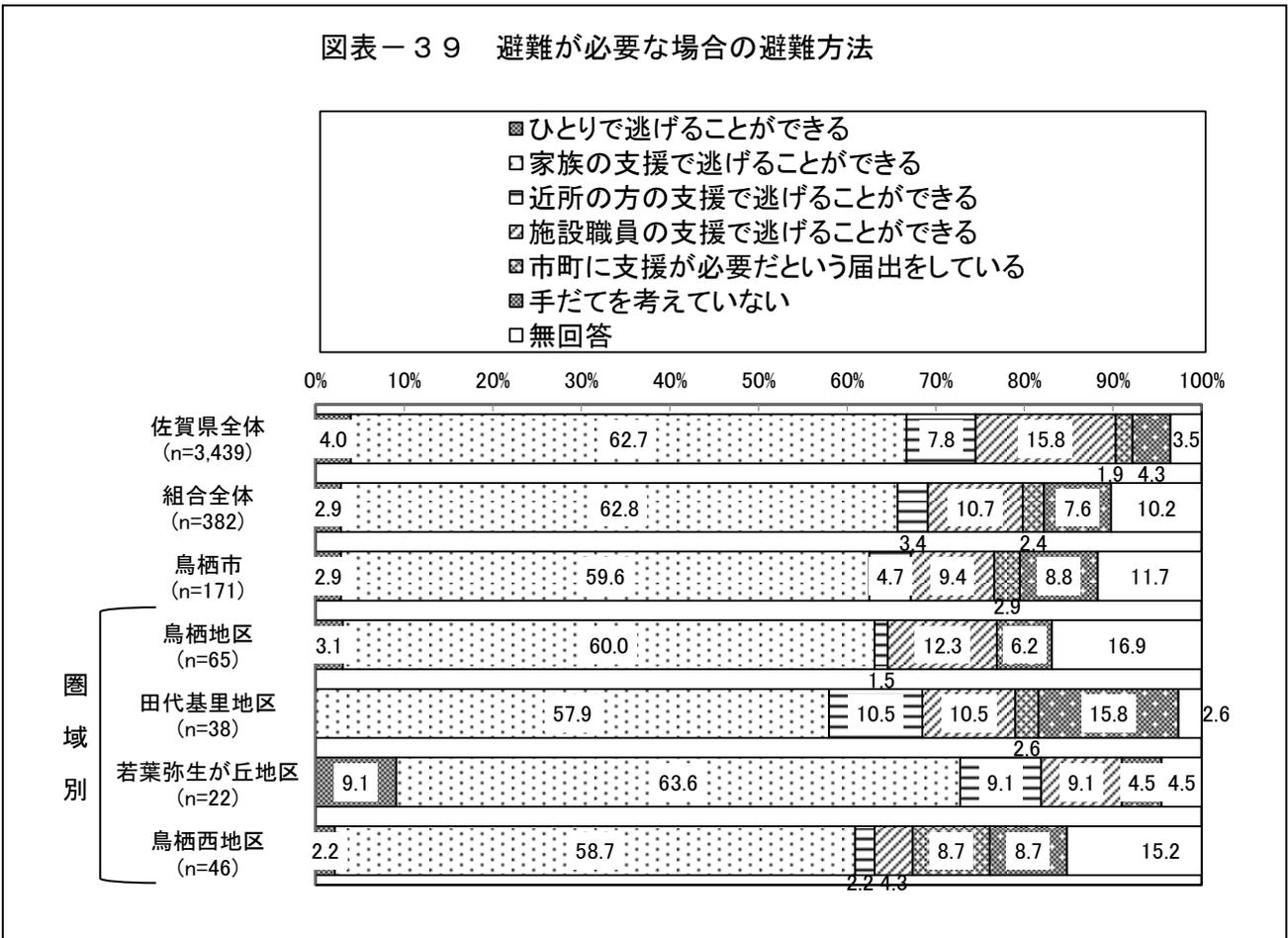


避難が必要な場合の避難場所についてたずねたところ、鳥栖市では「公民館などの公共の避難所に行く」の割合が52.0%と最も高く、次いで「家族や親せきの家に避難する」(21.6%)、「公共の避難所を知らないし、避難所がない」(6.4%)となっている。

圏域別にみると、田代基里地区では「公民館などの公共の避難所に行く」(60.5%)の割合が他の圏域に比べて高い一方で、「公共の避難所を知らないし、避難所がない」の割合も1割を超えている。

(2) 避難が必要な場合の避難方法

図表－３９ 避難が必要な場合の避難方法



避難が必要な場合の避難方法についてたずねたところ、鳥栖市では「家族の支援で逃げることができる」の割合が59.6%と最も高く、次いで「施設職員の支援で逃げることができる」(9.4%)、「手だてを考えていない」(8.8%)となっている。

圏域別にみると、田代基里地区では「手だてを考えていない」の割合が15.8%と他の圏域に比べて高くなっている。

Ⅲ. 鳥栖市独自調査

1. 調査の概要

(1) 調査の目的

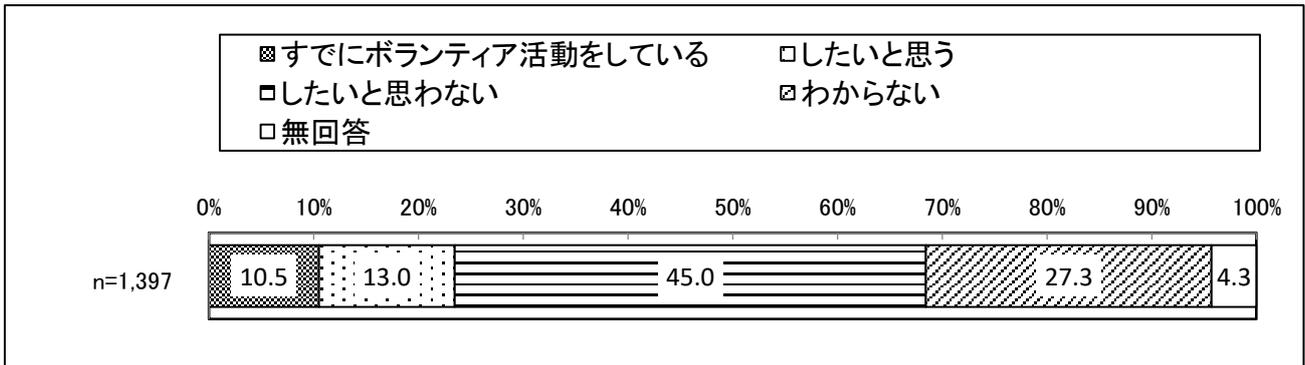
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査だけでは不足している内容について、独自に調査を行い、高齢者のニーズや意向を調査するため。

(2) 調査設計及び回収結果

調査対象と 標本数	要介護1～5の認定を受けていない65歳以上の高齢者：2,455人
調査方法	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査に同封
有効回収数 (率)	1,530人
実施年月	令和元年10月～令和2年2月

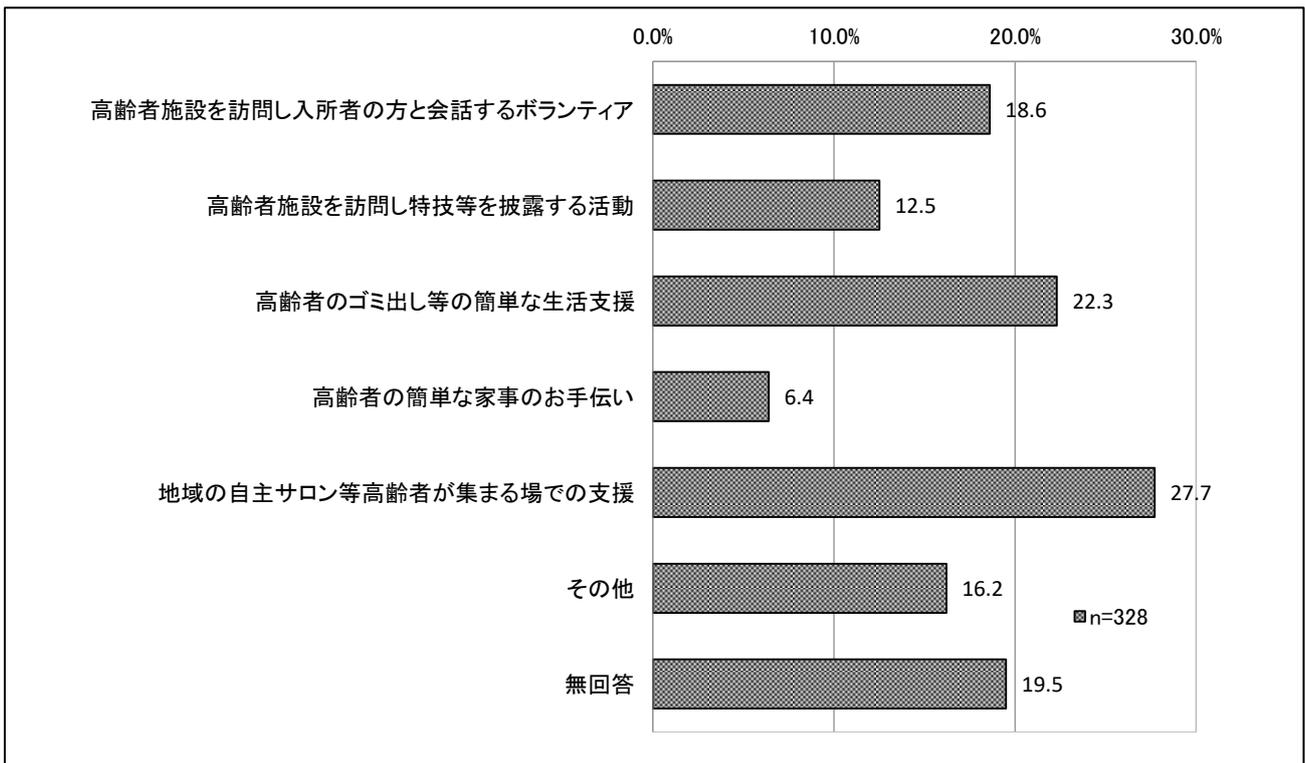
1. 「ボランティア活動」に関するアンケート

(1) ボランティア活動の参加意向



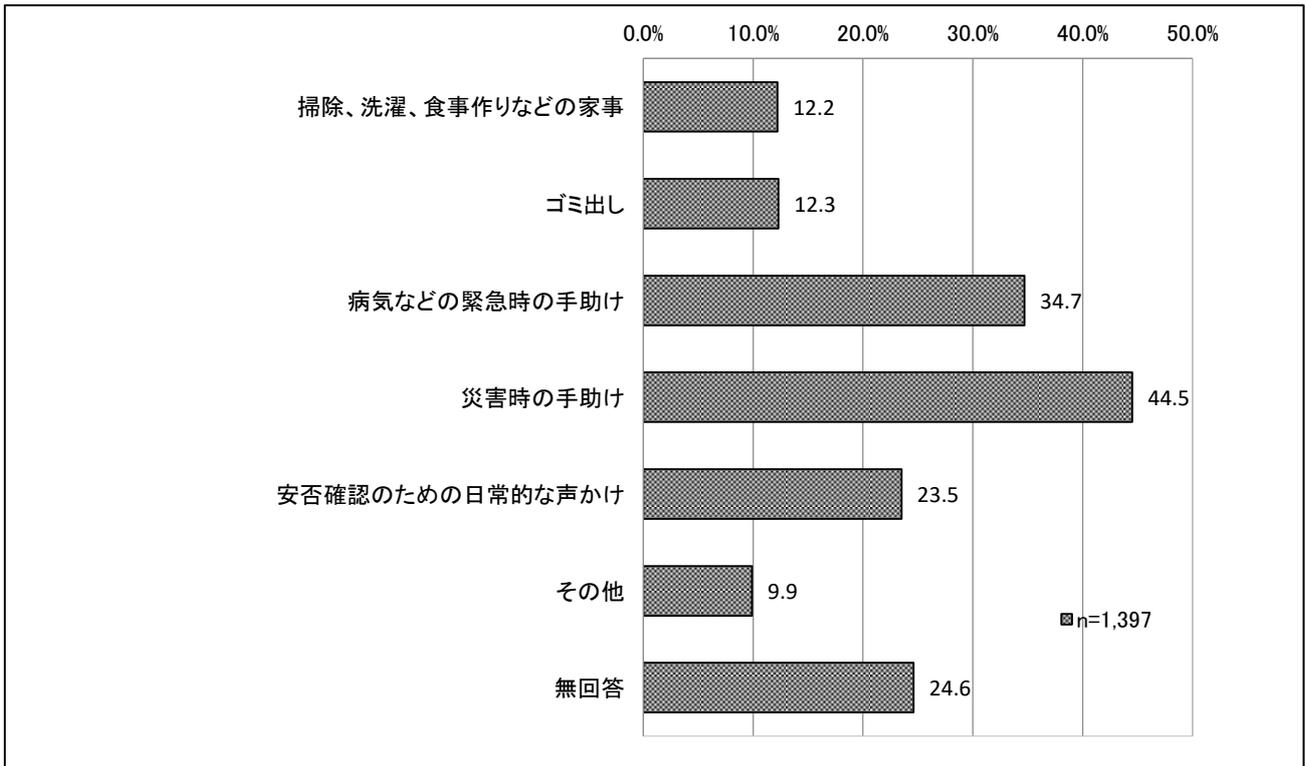
ボランティア活動の参加意向は「したいと思わない」が45.0%で最も高く、次いで「わからない」(27.3%)、「したいと思う」(13.0%)、「すでにボランティア活動をしている」(10.5%)となっている。ボランティア活動の啓発活動の強化が必要。

(2) 参加してみたいボランティア活動



参加してみたいボランティア活動は「地域の自主サロン等高齢者が集まる場での支援」が27.7%で最も高く、次いで「高齢者のゴミ出し等の簡単な生活支援」(22.3%)、「高齢者施設を訪問し入所者の方と会話するボランティア」(18.6%)となっている。

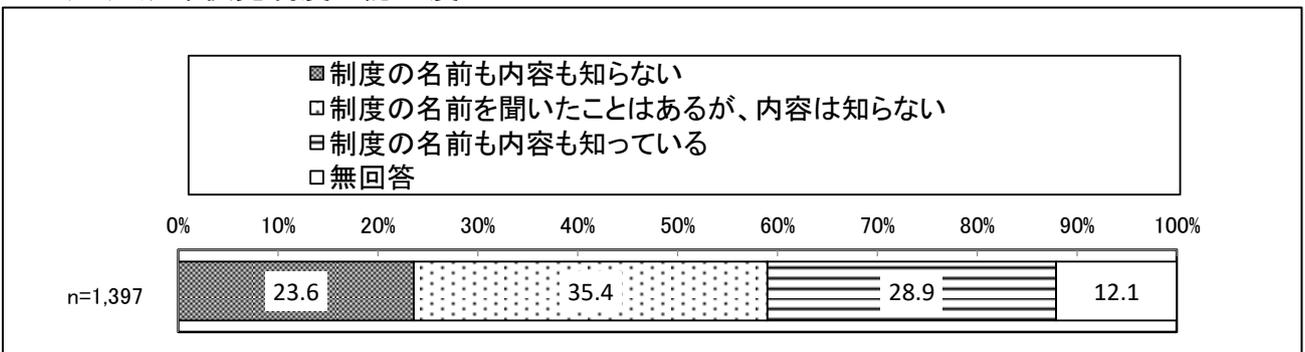
2. 「生活支援サービス」に関するアンケート



地域で暮らし続けるために、まわりの人に助けてもらいたいことは「災害時の手助け」が44.5%で最も高く、次いで「病気などの緊急時の手助け」(34.7%)、「安否確認のための日常的な声かけ」(23.5%)となっている。

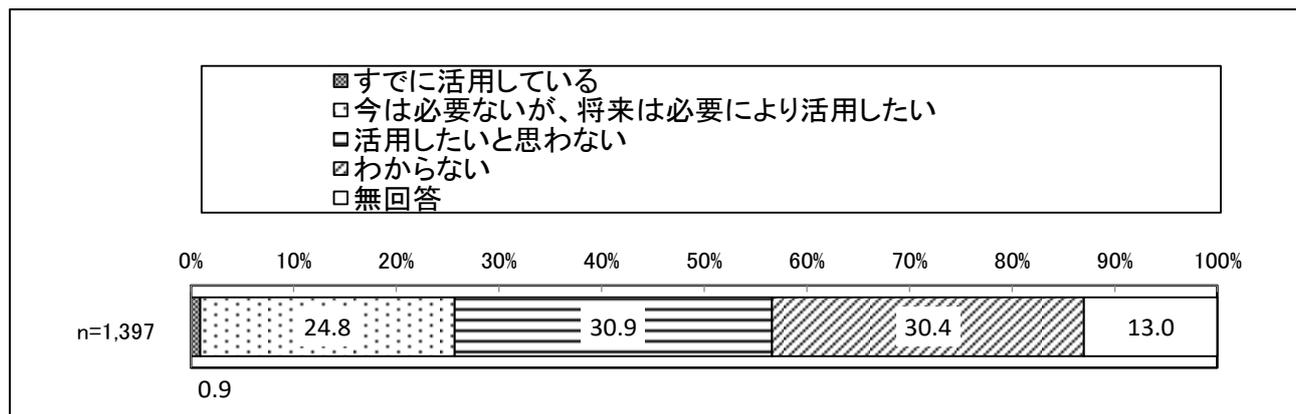
3. 「成年後見制度」に関するアンケート

(1) 成年後見制度の認知度



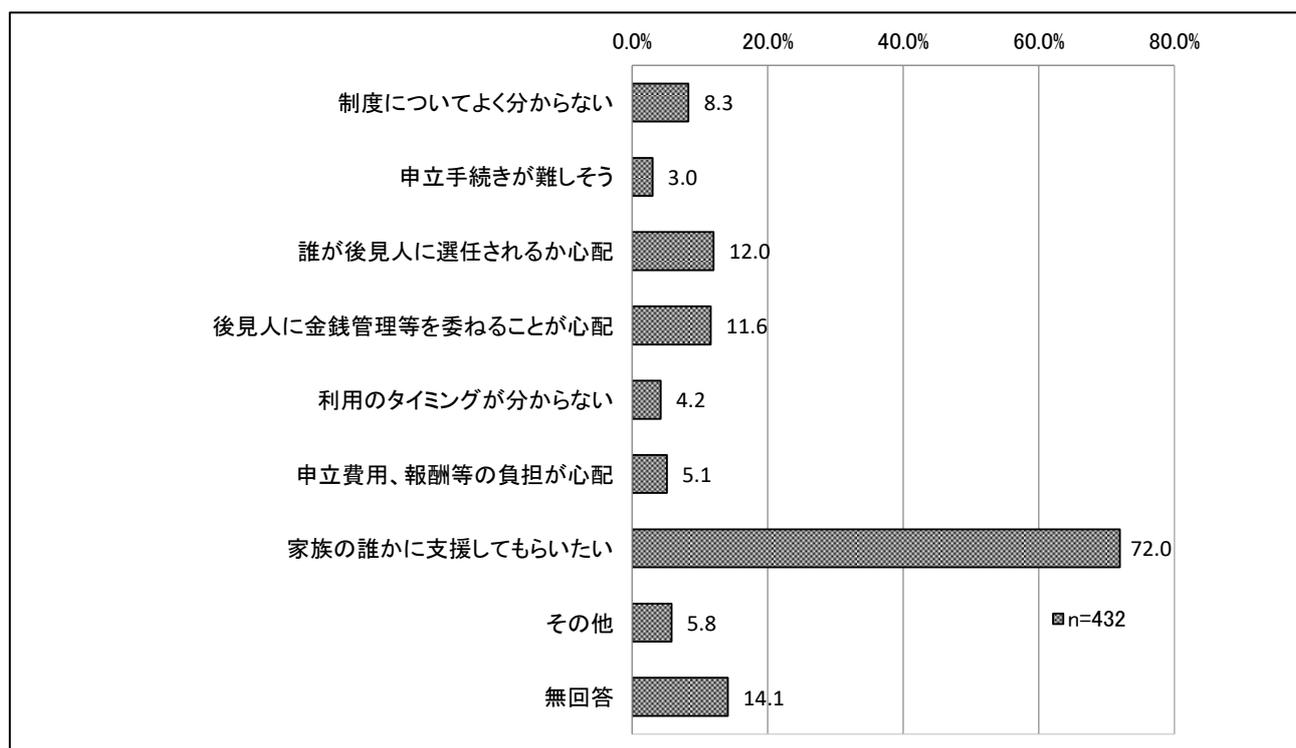
成年後見制度の認知度は「制度の名前を聞いたことはあるが、内容は知らない」(35.4%)の割合が最も高く、次いで「制度の名前も内容も知っている」(28.9%)、「制度の名前も内容も知らない」(23.6%)となっている。今後、制度の周知の強化が必要。

(2) 成年後見制度の活用意向



成年後見制度の活用意向は「活用したいと思わない」(30.9%)と「わからない」(30.4%)が同程度となっており、「今は必要ないが、将来は必要により活用したい」は24.8%となっている。

(3) 成年後見制度を活用したいと思わない理由



成年後見制度を活用したいと思わない理由は「家族の誰かに支援してもらいたい」(72.0%)の割合が最も高く、次いで「誰が後見人に選任されるか心配」(12.0%)、「後見人に金銭管理等を委ねることが心配」(11.6%)となっています。